新京日日新聞
夕刊　七月十日
本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓　郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三二〇五　營業局專用(3)三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

一切の逡巡を棄て三原則を承認せよ

汪、中華日報に復刊の辭

【上海十日發國通】事變發生以來一年有餘停刊を續けてゐた上海の汪派日刊紙中華日報は[illegible]ひあらゆる迫害に抗して十日毅然としてその復刊第一號を送り出したが、卷頭汪精衛氏は[illegible]の根本觀念及び前進目標」と題する長文の復刊の辭を寄せ、不動の決意を中外に闡明[illegible]において發表された聲明「抗戰の眞相」の後を承けて日支提携を民族的使命とし、[illegible]重ねて闡明し、革命の精神を全く沒却し共産黨の術策に陷り自國民衆を塗炭の苦[illegible]所なく徒らに抗戰を繰返すに過ぎぬ蔣介石の逸脱を未だ曾つてなき痛烈さをもつて[illegible]建設の搖ぎなき私心を吐露、中國民衆に披瀝してゐる、日支兩民族は共同生存、平等互惠によつて進むべき民族的必然性によつて固く結ばれた民族であり、中國は日本と緊密なる提携によつてのみその革命を完成し得るものであるとの不動の信念を重ねて強調、近衛聲明によつて提示された善隣友好、共同防共、經濟提携の三原則は何ら蔣介石が言ふが如き日本の中國侵略を意味するものではなく實に新東亞建設、日支共存を實現せんとする數年來渝らざる日本の眞意にほかならぬ旨を公然率直に論述し、今や一切の逡巡を棄てゝ東亞百年の大計を樹立すべく即時三原則を承認、共存共榮の道を取り民族的、歷史的使命を果すべき時であるとする烈々たる愛國の眞情を吐露してゐる【寫眞は汪精衛】

汪精衛の書翰全文

【上海十日發國通】汪精衛の書翰全文左の如し

孫總理先生はわれわれに「中國革命の成功は日本の諒解に俟つことがある」と述べたがこの意義は重大である、日本は東亞の強國としてその經濟軍事、文化は著しく先進し、最近數十年日本なくしては東亞なしといふことが出來る

中國は

假令諸事が遲れてゐるとはいへ東亞における廣大な土地を有し國民多く且つ長き歷史を有する國家であつて、若しこれが強國になれば中國の隆盛は日本に對し何等かの影響を及ぼし、日本に有利であるか或は有害であるかといふことを日本は必然的に知らなければならない、若し有利なりとせば日本は當然中國の隆盛ならんことを希望し、中國と友となることを希望す、

若し有害なりとせば日本は必ず中國が強盛となる動機を打消し中國を敵と定めなければならない、強盛を圖らんとしたばかりの中國を以て既に強盛なる日本を敵とする場合その勝負は問はずして知るべきである、かるが故に中國革命を成功させるためには必ず日本をして中國革命の成功が日本に有利であるといふことを知らしむ可きである、これは權謀策略ではなく誠意であるかくして初めて日本に有利となり、中國と日本の外交方針は一致し、更に進んで平等互惠の原則に基き經濟合作を圖つて中國が強盛になれば日本に對し有利であり、害はないのである、しかしてこれは中國の主權を絕對に侵害しない何となれば一つの國家が他國家に對し利害が同じであるため相結合する場合は絕對に主權を侵害するものではないなほこれは第三國の正當なる權益を絕對に侵害するものでない、何となれば日支の結合は共同生存、共同發達のためであつて第三國の正當なる權益を排斥するといふ意味は少しもない、民國十三年孫先生は廣東において國民政府建國大綱を制定したが、その際日支關係については上述の方針に照して進んだのである、同十四年孫先生が世を去り余がその遺志を繼承し國民政府を主持したが上述の方針に對しては敢て聊かも變更しなかつた、然し同十七年濟南事件は日支關係惡化の端緒となつたが相互の仇敵感情は解くべきでこれを強める可きではなかつた、中國は日支關係を惡化より好轉に復歸せしむるため只管隱忍し力を盡して事件の辯解に努むべきであつたに拘らず不幸にして當時國民政府はこの擧に出ず遂に日支關係を惡化より更に惡化せしめ、かゝる

狀態は

九・一八事件まで續いた、余が斯く述ぶるは當時の國民政府を主持する人を非難する意があつての事ではない余は一國民黨員であり、國民政府の關係者である、斯る過失に責任を分擔す可きであるが當時余は一亡命者であり、國民政府より逮捕令を下され海外に放浪する身であつたことを讀者に知つて戴きたい、民國廿一年一月廿八日より南京に至り行政院長に就任しその後また外交部長を兼任したが、余は「一面抵抗一面交涉」を以て當時の「直接交涉反對」といふ論調を匡正し、余の手によつて淞滬停戰協定および塘沽停戰協定を前後して

[illegible]

一刻と

雖も事態は轉換を思はざることなく、また一刻と雖も共産黨の陰謀を抑制し、これを喝破せんと思はざることはなかつた、最後の十二月十八日に至り初めて重慶を離れ同廿九日和平建議を發表したのである、しかして余の和平建議は日本近衛内閣の聲明に全く贊同するものである、何故ならば余は從來一貫せる觀念を枉げず持續けてゐる、即ち對日仇敵感情は解くべくして強むべきにあらずといふの

[illegible]

投降兵外國記者團と會見

戰鬪に於て我が軍に投降したソ聯兵イワノフ左、ペトロフ右の兩名は八日〇〇に於て外國通信記者團と會見しソ聯軍の敗戰ぶりを詳細に物語つた【寫眞は外國記者團と會見するソ聯投降兵＝軍許可濟】

バルシャガル高地の

わが巨彈の猛威力敵の砲撃を制壓

ハルハ河畔砲聲殷々

【バルシヤガル高地九日發國通】ハルハ河對岸高地よりする敵の砲擊は九日もなほ相當執拗に續けつゝあるがこれに對するわが砲兵陣地の威力は完全に發揮され彼我の間に猛烈な砲擊戰が展開殷々たる砲聲はハルハ河畔一帶を震撼せしめ砲煙は濛々として大草原烈日の下に物凄い戰場繪圖を繰り展げてゐる、我が砲擊は極めて有利に敵の砲擊を制壓しつゝあり

吉丸鐵牛部隊の奮戰

【ハルハ河畔にて九日發國通】越境外蒙ソ聯軍の包圍を完成した去る三日のハルハ河畔の戰鬪は未曾有の大激戰で敵は戰車、裝甲車を先頭に必死の抵抗を試みたが忠勇なる我軍の空陸呼應しての猛擊により徹底的打擊を蒙り敵の死傷算なく、多數の兵器を遺棄して潰走した、この大激戰にわが吉丸鐵牛部隊の奮戰は特に目覺ましく、雨飛する敵彈の中を突進頑敵を擊破、敵陣地を縱横に蹂躙し敵包圍完成に赫々の武勳を樹てたのであつた、この戰鬪で同部隊の吉鐵寬治大尉(福岡縣)砂川清治中尉、井上直道中尉、清水三郎古賀康男兩少尉は壯烈な戰死を遂げ西部國境線確保の華と散つた

日英東京會談開始

十三、四日ごろよりか

【東京國通】日英會談に關し十日午前外務省において陸軍、外務兩省間の閣議において有田外相より各閣僚の諒解を求め茲にわが方の會談に臨[illegible]ければ十三、四日頃有田、クレーギー會談をもつて開幕せられるものと[illegible]

[illegible]

今月 哀悼日は十三日 自動車にも弔旗掲揚

皇軍戰歿將士遺骨の奉送迎並に御通夜は市民の心からなる奉仕に依り、その都度嚴肅盛大に擧行し、毎月十二日をもつて「自肅哀悼日」とし三業組合、料理店は公休又はこれに準ずることとなつてゐるが更に一層銃後市民の奉仕を徹底するため、當日は各戶並に自動車は日滿兩國弔旗を掲揚するやう特に于市長より全市民に注意してゐる、七月御の遺骨發着は十三日午後三時十分哈爾濱方面より、同七時五十二分は吉林方面より到着記念公會堂に安置御通夜を行ひ十四午前十時三十分新京驛發南下する、弔旗は着京當日は終日掲揚、發京當日は午前中掲揚せられ度いと

今年は"夏季鍛錬期" 働かう!夏休み 市内中小學校 一齊にあすから

市内中等學校の待たれた暑中休暇はあす十一日から、けふ十日は各校とも第一學期の終了式を擧行したが、事變下の折柄、本年は休暇期間を從來より中、小學校とも五日間を短縮すると共に暑中休暇の名を廢して「夏季鍛錬期」と改めかつての夏休みの觀念から脱却し鍛錬勤勞、資源節約の國策線に沿ふ積極的方針に基きそれぞれ期間中のプランを樹て邁進することゝなり成果を注目されてゐる

敷島高女行事

あすから夏休み改め夏期鍛錬期となる市内中等學校では生徒の積極的鍛錬行事についてそれぞれ計畫を樹てゝゐるが敷島高女に於ける期間中行事大要は次の如くである

一、勤勞奉仕
イ、建國廟御造營集團勤勞奉仕作業參加
ロ、本校宿泊集團勤勞奉仕作業十一日より十五日まで五日間
ハ、家庭勤勞、この期の生活の重點を家庭での勤勞に置き常に甲斐々々しく働き第二學期の始めに誰れが最もよく家庭で働いたかについて調査する

二、體位向上
規律正しく節制ある生活によつて早寢早起、建國體操會等に參加、運動を毎日の日課として二學期始めに體位向上の調査をする

三、時局下の生活
「今如何なる時局であるか」を寸時も忘れず節約貯蓄質素、剛健を目標とする生活をなしそれぞれ廢品利用代用品廢品再生、發明創作を主とし「實用と厚生」の主旨に合する課題を提出

四、夏季鍛錬期生活表
夏期鍛錬期生活表を作製各自の目標を定實行表に記入し後に自己反省と保護者自筆の感想を記入提出する

奉滿、新京滿洲 國戰延期

八日雨天で延期された奉天滿倶對新京滿洲國野球第一回戰は九日も雨天で延期となつた

國都認識 接客業者から 觀光協會で市内見學

躍進國都の認識は先づ接客業者からと新京觀光協會では十、十一、十二日の三日間新京市内各カフエーの女給連を市内觀光バスに分乘させ、案内孃から南嶺、寛城子の戰跡や伸び行く國都の説明を聽き乍ら市内を一周し、終つて寶山百貨店六階展望台に於いて座談會を開催することになつてゐるが、更に十三、四日の二日間は旅館組合主催、觀光協會後援で市内各ホテル、旅館の女中さん達を分乘させ、來京する旅客に對して接客業者から正しく國都を紹介するやう徹底さすことになつてゐる

失業露天理髪商に光り 大衆理髪處店開

一時は社會問題として騒がれ國都の巷に時ならぬセンセーションを捲き起した街の人氣者露天理髪業者は非衞生的であるとの見地から當局の掃滅方針に基いて遂に昨年末長い因襲のきづなを切つて思ひ出の姿を消してしまつた、時代の波に追はれたこれ等業者は當時二百五十餘名を數へたが關係各機關の斡旋によつてその大半は店舗を持ち或は轉業等によつて就職生活の安定を得ることが出來た、然し殘る百名餘の就職出來なかつた業者については新京理容術營業組合がその救濟方を依託され爾來組合側ではしばしば役員會を開催協議の結果、組合の經營によつて市内數ヶ所に店舖を開店失業者に職を與へることゝし多大の犧牲を拂つて鋭意奔走中であつたが、願望なつて去る一日から滿人歡樂街新天地にその名も大衆理髪處と木の香も眞新しい看板を掲げ理髪師十餘名を採用して營業を開始した、同處の經營については組合側では愼重を期してゐるが、この成果に鑑み引續き勞働市場の南關及び寛城子、勞働宿泊所等三ヶ所に店舖を開き漸次救濟解決の計畫で成果は頗る期待されてゐる

新京場所に張總理優勝盃 東京大相撲新京場所は愈よ廿日より蓋をあけるが、張總理寄贈の美事な優勝カップも關東軍、海軍部の優勝カップと共に新京場所に華を添へることになつた(寫眞は張總理優勝カップ)

不正鐵商人に鐵槌

最近奉天市内に於ける鐵鋼類品薄の蔭に踊つて相當暗取引あり、さきに大和署では市内暗取引者の一齊檢擧を斷行數名の不正商人を檢擧取調べた結果右暗相場の根源は他に起因することが判明、奉天警察廳保安科で極秘裡にこれが根源を追及した所鐵西中山工業所にあるとの確證を掴るに至つた、依つて去る六月十五日同工業所取締役の林爲之(四〇)を引致取調の結果、こゝに不正暗取引の全貌が暴露するに至つた

即ち中山工業所は本年四、五の兩月に亘り同社生産の洋釘一千五百樽を一樽につき公定價格十八圓に對し十五、六圓乃至四十圓のプレミアムを附し、市内千代田通り機械商本田商會本田政登(三四)に販賣、會社の帳簿には公定價格を以て販賣せる如く裝ひ犯跡をくらまし、更に六月五日日滿商事より釘の生産原料として配給された線材を切斷、鐵筋材料として原價噸二百圓のものを四百五十圓の暴利を以て大連市土佐町竹田商會竹田元治(五〇)に廿トンを賣却、これ又帳簿には暴利を隱蔽するため實販賣量の倍量を記載、約十萬圓の暴利を取得した

一方本田商會は中山工業所と結託し同工業所より買受けた釘を更に一樽につき五圓乃至廿五、六圓を利得、市内岡組、新京滿洲採金會社、同佐藤洋行に販賣約二萬圓の暴利を貪り、竹田商會は中山工業所より買受けたる線材噸四百五十圓を更に六百圓に販賣せることが取調べの進捗と共に判明白日下に暴露されるに至つたものである、同保安科では前記三名が非常時局を辨へず暴利を貪ぼり統制經濟を攪亂する惡質犯罪として斷乎暴利取締令を適用、事件は檢察廳に移されることになつた

鐵線闇取引 市内東五馬路北市場義盛永古物商韓宗周(四〇)他五名は鐵線、鐵釘を公定價格を無視して販賣してゐた事實を長通路署に探知され取調べの結果、闇取引に準ずるものとして八日嚴重戒告された

滿鐵社旗の下 潑剌若人の意氣 青年大會廿三日擧行

滿鐵五萬青年社員の意氣を高揚する恒例青年大會は二十三日を期し滿鐵社旗の飜るところ一齊に時局に相應しい諸行事が繰り展げられる、此の日新京にては十三獨身寮約七百の男女青年社員に社員聯合會各分會員が參加し約三千の社員が男子は白シャツ白鉢卷、女子は輕裝にて午後三時新京神社に集合、神社參拜ののち灼けつく中央通路上にて勇壯なる分列行進を行ひ平島支社長の閲兵をうけ煙火合圖に愛國行進曲を合唱しつゝ市中行進、忠靈塔を參拜して第二會場兒玉公園内滿鐵野球場に繰り込み炎天下に合同體操、各種對抗競技に發汗運動を行ひ少憩、日の丸辨當に腹ごしらへをなし綠風渡る星空のもと炎々熾る青年の火に照らし出され、舞踊體操に大家族主義の美はしい總親和を見せ解散の豫定である

常岡中將豫備役に 【東京國通】十日發表を以て左の如く發表された
陸軍中將 常岡寛治
豫備役仰付けられる

奉天新京定期庭球戰無期延期

第二回奉天對新京定期庭球戰は九日午前九時より奉天國際グランドに於て開催豫定の所降雨のため無期延期となり、當日午後四時より天候の晴間を利用して兩軍の練習試合を行つた結果は左記の如くである

全新京		全奉天
近藤 坪田	三―四	安田 本郷
本間 藤澤	四―二	金
向井 李	〇―四	兒玉 植村
嚴 江崎	四―三	川眞田 大石
大古 谷岡	三―四	金 三宅
吉田 松本	〇―四	菊本 本郷

結果降雨のためドロンゲームとなり新京軍は十日朝歸京した

協和少年團の"英靈"お盆祭り 十六日夜三ケ所で

首都協和少年團では護國の英靈を慰め、感謝の意を表すため、來る十六日午後七時より忠靈塔、海軍記念碑、誠忠碑の三個所で「お盆祭」を擧行する事になつた、當夜の行事左の如し

一、讀經燒香 二、慰靈文朗讀 三、供物を靈前に供へ篝火を焚く 四、音樂演奏 五、潭月池畔の大篝火場に至り精靈を送る 六、靈城及これを通ぬる順路に提灯獻燈をなす 七、燈籠行進

驛盜難二件 東安省密山縣東安大倉土木社員海老孜氏は九日午前七時驛に到着するとともに一、二等洗面所で洗面中傍に置いたワニ革二ツ折財布(三百五十圓在中)を▼また中央電話局技術課内澤市雄氏は八日午後六時三十分頃出札口で急行券を購入中財布(百八十九圓在中)を何れも何者かに竊取され警護隊驛詰所に屆け出た

街の日記

軍樂隊の夕べ 新京音樂院主催の軍樂隊の夕は十日午後八時より大同公園の野外音樂堂で擧行され、勇壯なる軍樂リズムを濃綠の公園一杯に繰り展げることゝなつてをり、前人氣を呼んでゐるが曲目は左の如くである

一、三江警備軍、園山二、生活の樂しみ、作者不明、三、ドナーヴ河の漣、イヴアノヴイッチ四、軍用艶、陸軍軍樂隊五、突撃、山本六、秋季行軍、パポノー、七、山村の風光、チエリーヌ八、幻想曲カルメン、ビゼー九、南方の想出、ランペ編十、大陸行進曲橋本編

龍山鐵局軍來京 龍山鐵道局チームは十一日朝來京左記により試合を行ふ
▼十一日午後五時對新京倶樂部▼十二日午後四時對電々▼十四日午後四時對電業(何れも兒玉公園球場)

金剛流御詠歌講習 新京祝町二丁目眞言宗高野山金剛寺では十日から十六日まで一週間毎日午後一時より四時までと午後八時より十時半までの二回金剛流御詠歌の講習をなすが一般の受講を歡迎すると尚講師は高野山大師教會總本部から派遣された古淵氏である

あす(十一日)
▲滿蒙古小學校作品展覽會 午前九時より於記念公會堂
▲大陸觀光寫眞展 於三中井百貨店
▲第二回發明展覽會 於寶山百貨店

關釜一時間短縮 京釜直通を增發 十月鮮鐵ダイヤ改正

【京城國通】大陸への輸送路を完成する鮮鐵懸案のダイヤ大改正はこの秋十月を期して決行することになり、近く内地側と折衝を行ふがその内容左の通り

一、關釜聯絡船一隻、貨物船二隻增配 客船は金剛丸以上の超弩級船を就航させ、廿五ノットの速力で現在の所要時間を一時間短縮する
二、北京―釜山間直通列車一本增發
三、釜山―新京間直通列車一本增發

小麥粉で暴利

吉林市北山街源升慶胡同六第屈延貴(四九)額穆縣紋河畔順街十九號雜貨商店宿星帯(三四)の兩名は、吉林市内に小麥粉が拂底してゐるところから數回に亘り蛟河にて買溜した金魚印小麥粉百五十袋をひそかに吉林に搬入、一袋時價六圓十錢のものを八圓から十三圓の法外な値で小賣し暴利をむさぼつてゐたところを警察廳員に探知され、遂に逮捕されたが吉林にて小麥粉の暴利取締令發動最初の槍玉である

物騒なボロ買

市内東五馬路十三居住ボロ買王成儒(三五)は二日午後三時ごろ、市内八島通三〇八島會館七號室齊藤貞治氏の留守宅に侵入、ガス炊事器二個(時價十六圓)多オーバー一着(時價百圓)を竊取したことが發覺、九日正午入舟町二丁目の路上で中央通署採、盧兩刑事に逮捕された

大空の戰士 交通部で官費養成

時代の要求により航空事業の重要性がますます認識せられて來た折柄、交通部では官費をもつて航空機の操縦士を養成することになり、左の要領により廣く一般から人材を募集することゝなつた

一、採用人員 二〇名
二、志願者資格 大正七年十二月一日より大正十一年一月三十一日までの間に出生の男子にして中等學校四年修了程度以上の學力を有する者
三、採用試驗 面接監査及び體格檢査、學科試驗(國語、數學、常識)人物考查
四、試驗期日及び場所 面接監査は八月一日前後(新京、奉天、哈爾濱、大連)體格檢査及び學科試驗並に人物考查は八月十五日前後(新京)
五、志願手續 七月廿五日までに願書及び最近の戶籍謄本自筆履歷書、最近の寫眞並に醫師の作成せる體格檢査證を新京交通部航路司航空科宛提出、但し戶籍謄本は面接監査當日試驗場において提出するも可、旅費その他の費用は志願者の負擔とす
六、修業並に特典 修業期間は八月下旬より概ね七ケ月間で學生舍に收容し學費、被服、食費等に要する一切の費用および手當月額十五圓を官給す、特典としてはこれに伴ふ學科術並に陸上飛行機の操縦術を修業せしめ二等飛行機操縦士の資格を得しめ更に引續き康德七年度において一等操縦士の教育を實施す修業後は滿洲航空株式會社に見習操縦士として約六ケ月間服務せしめ正操縦士とす正操縦士としての初任給は概ね二百圓程度を給す、なほ修業者は陸軍航空兵科豫備下士官を志願することを得
七、採用者の發表 採用決定及び入所豫定期日は八月下旬採用豫定者に對しては交通部より直接本人に通知し入所箇所は滿洲航空株式會社乘員養成所

その他詳細は交通部航空司航空科又は各地航空所、奉天滿洲航空株式會社又は同社各地飛行場飛行協會本部又は各地飛行協會支部或は營口海上警察隊又は大連遞信局へ照會、また志願者心得必要の向は三錢切手封入の上右各箇所へ

大連場所三日目

(勝)		(負)
藤ノ里	捲落し	巴潟
松浦潟	寄切り	倭岩
松ノ里	外掛け	鶴ヶ嶺
神東山	寄切り	番神山
大邱山	打棄り	高登
大浪	吊出し	綾若
兩國	吊出し	旭川
幡瀬川	不戰勝	大和錦
綾昇	上手捻	磐石
安藝海	寄切り	鯱ノ里
青葉山	寄切り	駒ノ里
五ッ海	寄切り	佐賀花
鶴王山	寄切り	金湊
富士嶽	吊出し	肥州山
鹿島洋	寄切り	楯甲
鏡岩	寄切り	出羽湊
名寄岩	寄倒し	前田山
羽黒山	突出し	男女川
双葉山	上手投	玉ノ海

打出し午後八時

武勳に驚嘆 外人記者團荒鷲勇士と會見

【〇〇基地九日發國通】米國A・P通信フライアン氏英國ルーター通信ドルトン氏はじめ英米獨佛の一流外人記者團一行八名は市田中佐の案内で九日午後五時卅分〇〇基地を訪問、〇〇部隊長を始め野口部隊長等の空軍勇士と會見、各勇士の實戰談を聽取し我陸鷲の烈々たる武勳と戰果に驚嘆の色を浮べ夕刻前線に向つた

平島理事慰問へ

滿鐵新京支社長平島理事は齊鐵管内皇軍將兵並に社員慰問のため園田參與總局厚生課員工務局員らと共に十日午後九時四十分新京驛發列車で出發する期間は約一週間の豫定

戶川秋骨氏逝去

【東京國通】慶大教授戶川秋骨氏(本名明三)は神經痛のため慶應病院に入院加療中九日逝去した、享年七十七、氏は東大英文專科を卒業後島崎藤村、故上田敏氏等と共に明治文學の新運動に活躍慶應に職を奉じてからは英文學を講義する傍ら隨筆外國文學の紹介等に筆をとり多くの著作がある

團體往來(十日)

△佳木斯師道訓練所生徒卅七名 十日午前六時十八分着奉天より
△王爺廟師道訓練所生徒廿四名 同午前十時五分發吉林へ
△愛知縣海外協會視察團十四名 同午後十一時五分發奉天へ
△青森縣教育會視察團八名 同午後十一時卅分發奉天へ
△奉天中央郵政局職員訓練所生七十名 同 右同

今晩の主なる放送

▲七・三〇國民歌謠「聖戰第二周年を迎ふ」(東京)國立混聲合唱團▲七・四〇講演「東亞經濟を建設す」(新京)毛里英於兎▲八・二〇歌謠曲(大連)レコード▲八・三〇ラヂオ時局讀本「支那事變の前途」(東京)▲八・四〇チエロ獨奏「アンダンテ外數曲」(大連)シミオン・ムットマン▲九・〇〇府縣めぐり「神奈川縣の港」(東京)

"暁に歸る"
……品よく纒つた娯樂映畫

(佛ベルショルズ映畫)

先づピンからキリまでダニエル・ダリユウがあつて、ストオリイも、舞台も、登場人物も、この映畫の全てのものが彼女の美をあらゆる角度から眺めさすためにある十卷、アンリ・ドウコアンの監督はこの點に關する限り完き效果を收めてゐると云へる。

◇

田舍の小驛長と結婚した若き人妻が伯母の遺産を貰ひに都會に出で、美しい衣裳に眼を奪はれてゐる間に歸る汽車に乘遲れ途方に暮れたが、半ば捨て鉢な氣持が咄嗟に彼女を大膽にして都會の一夜の冒險に體當りさせる、あげくの果てが知らぬ間に寶石泥棒の片棒を擔いでゐて拘引されるが、危く釋放されて夢中の儘夫の許に歸りつく。

◇

脚本は監督者アンリ・ドウコアンとピエール・ウオルフが當り、ヴイツキ・バウムの原作によつたと云はれる。別に多餃のあるストオリイでなく個々の挿話の絡り方も淡泊なものであるが、田舍から都會へ―と移り變る女の姿態の多様性に當を得た心理の裏打ちのあるのはよく、女の都會への憧れをさりげなく伏せた手並から、夫への聯想を重ねてこれを『歸る』結末へたぐり寄せたあたり、まづ天晴れ隙のない纒りを示してゐる。

◇

然し乍ら、これはこの纒りの良さに止まり、内容の『高さ』に求めて得るものは少い爽やかな掌篇風な筆觸の香りとダリユウがあつて止まる眼界が、同時にドウコアン、ダリユウの技能の尺度とも見られやう、飽まで品よき娯樂映畫としての效果のみを狙つてゐる利巧さの中には、案外これ見よがしのいゝ氣なものがあるやうである。

◇

助演陣の夫々好ましい演技の中に泥棒を演るジヤツク・デユメルがいゝ見せ場所を持ち、この泥棒とダリユウのホテルにおける場面が、ドウコアンの演出の頂點を示すと共に篇中の傑出部分であらう。音樂はポール・ミラスキでこれは美事な效果を添へてゐるものであつた。帝都キネマ上映中、寫眞はその場面【和】

各社子供スターの强化

來るべき兒童映畫時代に備へて、各社はいづれも子役陣の整備、强化に大童だが、一方に於ては折角名子役として賣出した連中――松竹の突貫小僧、東寶の高峰秀子、新興の菅原秀雄なぞが、だんく大きくなつて、子役の域を脱し、大人と子供の中間と云ふ早春時代を迎へるので、その補充に頭を痛まし、名子役の發見に一と苦勞の形、現在のスタヂオには多くて三十名、少くとも十五名位の專屬子役が屬して居り、準專屬を加へると、その倍以上に上る見込みだが、その中から、主なる子役スターをピツクアツプして見ると左の如くである

松竹――加藤清一、葉山正雄、爆彈小僧、アメリカ小僧、小島和子、長船フジヨ、中田十四子、林一重、古谷輝男、玉城健吉、鹽田チヤー坊

日活――片山明彦、ドングリ坊や、飛田喜佐夫、星美千子、伊藤哲夫、井上惠美子、須田大造、米川壽江、大中清子、宗春太郎

新興――杉山美子、金澤佳都夫、金澤美都子、金澤伊都夫、平田日出男、中田耕二、木戸正子、高橋喜久男、ツネ公、日高松子、日高竹子、日高梅子

東寶――林文夫、小高まさる、小高たか坊

大都――飯塚小三郎、チンピラ大將、八田なみ志

仙人掌

女史の門を叩き本格的練習を始めたところ天禀の才能をあらはしてめきめき上達最近ではベース歌手として玄人級に達したので女史もその技術を買つてこの日の舞臺に重要な一役を振つたもの、三浦女史も同夜素質のいゝ人で餘技には勿體ないと語つてゐた

ダイヤ街銀波の若草忍君、彼女がダンサー(元新京會館)から女給としてこの店に轉向したのはたしか一ヶ月前、その頃勝手が違ふつて小さくなつて隨分こぼしてゐた▼だが今では四十名近い麗人群中の姐ご株夜毎隨分忙しいのだつてと言つて、慌てゝ拾ふ程の容貌と言ふわけでもないが男操縱の手にかけては決して人後に落ちる彼女ではない、女給學つて要は男操縱の秘訣を知ることである、最もその手の裏を行くと言ふフアンは忍君のサービスに一度接して見ることである、きつとフアンとうなづける▲國都のネオン街景氣を慕つて新人の來京はおびたゞしい、各店とも新人氾濫と言ふ景氣のいゝ話、その中サロンキングの一人を拾つて見る、名前も知らない女であるが、女給二、三百を抱擁する大阪道頓堀マルタマに於て五位を下らぬ賣れ妓であつたことに間違ひはない、魅力のある女と言ふことだ、ともあれ寫眞でお目見得する、彼女にとつて國都はあこがれの處女地なのである、旅は寂しいものである、その寂寥の中に飛び込む時いつまでも印象づけられるものであることをフアンはよくは知つてゐることであらう?【サロンキングの新人】

三浦環の相手役に警視廳技手

三日夜、日比谷公會堂で脚光を浴た内田元氏曲、三浦環女史主演の新作歌舞劇〃熊野〃二幕に、官女姿の三浦女史の家臣としてデビユーしたドラマチツク・ベース大森一郎君その美聲に滿場の喝采を送られたが、この新進歌手として警視廳の一建築技手の〃餘技〃の精進が實を結んでの初舞臺姿だ

同君(二五)は警視廳建築課監査係技手、この四月東大工學部建築學科を卒業、任官したばかりの技術家の卵、在學中から聲樂に興味を持ち學友とコーラスを組織してゐたが、昨年暮三浦

雜音

「曉に歸る」の吸引力衰へずこの暑さにもめげず帝都キネマの日曜日は引續き晝間から客足を詰めて盛況である「早春」に次ぐ好成績であらう▼次週は「巴里祭」と「女人禁制」の洋畫再映二本立、次いで「春愁」と東寶「青春野球日記」の二本立である▼朝日座の「隱密七生記大會」も日曜日の入りは素晴らしく、次いで豐劇が相變らず盛りのいゝところを見せ、新キネ、銀キネ、長春座はやゝ落ちた、暑さが酷しくこたへてゐるやうである

東京・本郷・神誠館

火曜	陽七
己酉	五月
大安	廿十
滿	五一
觜宿	日日

●一白の人　目に見えて居ても手に入ること遲し急ぐな坤と東と艮が吉
●二黑の人　誠意十分なれば勝利の榮冠を把る事を得る丁と巳と坤が吉
●三碧の人　何事も物足らぬ思ひに暮るゝ日焦るは大凶乾と壬と甲が吉
●四綠の人　光陰は人を待たず午後あることを賴む勿れ
●五黄の人　鎭靜より發動に移り行く隆運の日大に勵め艮と甲と丁が吉
●六白の人　物事行き詰りを生じ易し急げば急ぐほど凶巽と西と東が吉
●七赤の人　不圖して怒氣を生じ出來に近く事を破る日巽と坤と壬が吉
●八白の人　足腰を定めて根强く進むときは事成るべし丁と東と西が吉
●九紫の人　元氣を充實し心を固めて急がずば吉日たり艮と巽と西が吉

晝夜用心記（ちうやようじんき）（二〇一）

三村伸太郎・作　木下大雍・畫

奔流（三）

お吉にして見れば、思ひあまつて芹澤の屋敷を訪ねて來たのであつた。

そろそろ花の噂が、江戸の町々にひろがりかける頃から芹澤源六は、ふつつりと姿を見せなくなつてゐた。

逢る瀬ない日が、お吉に續いた……。

心からとは言へ、あれほどの愛情を示してくれた市助を膠もなくふり棄てゝ、芹澤源六の懷ろに抱かれたお吉はいま、色紙細工にも似たやうなたはむれな溺愛の蔭に、恐るべき空虚を見出したのであつた。

夜毎の、わびしい閨の中にお吉は、不足な愛情の夢をかき抱き冷めたい芹澤の振舞を怨みながらも、戀ひ慕うた……。

暗い庭に、あかあかと咲いた椿が、ばさりと、音立てゝ落ちるのが、うつらうつら物思ふお吉の胸に、あやしくひびいた。

幾度か寢返りする隙間に、市助のことが、ちらちらと白い幕のやうに、ひるがへつた……今、お吉が、ひそかに芹澤の屋敷に現れたのは、よくよくのことであつた。

『お前は……』

用人の相田佐兵衛は、仲間の又助と話してゐるお吉を見ると、眼を据ゑて、息を呑むやうな顔つきになつた。

先刻、用人部屋で、佐兵衛老人が、病的に近いまでに危惧してゐたところの芹澤家の暗い運命が、お吉を見ると、如實に現れたやうな氣がして來るのであつた。

『何の用があつて、お屋敷に參つたのだ。……お前のやうな女は、このお屋敷には、用が無い筈だ。

佐兵衛老人のかう言ふ言葉よりも、むしろその顔なり態度なりにきびしくお吉を責めるものが含まれてゐた。

『相田さん……妾は、殿様にお目にかゝりに參りました』

權柄づくで怒を言つてくれる佐兵衛老人を見るゝ、つゝましやかなお吉は、思ひかけなくも、かう高飛車に出た。

『……』

佐兵衛老人は、ぎよつとするやうにお吉を見た。

屋敷に奉公に上つてゐた當時から見ると、お吉は不思議なくらゐに身體に品格がついた。

『妾は殿様に色々とお世話になつて居ります。それで……かうしてお屋敷にお伺ひ申しましたのも、譯があるからでございます』

『お前が、殿様にどんなお世話になつてゐるか、そんなことは拙者の知つたことではない。……兎に角、お前のやうな女が、お屋敷に出入りをしては、御當家の御名前に係はる』

『殿様が、そんなことを仰有いましたか……』

お吉は、はじき返すやうにかう言つた。はげしい屈辱が身の内を引緊める。

相田佐兵衛は、ひどく狼狽した顔つきだつたが、仲間の又助に、

『お前も、お前ではないか。……早くこの女を追ひ出してしまひなさい』

かう言つて、相田佐兵衛は奥の方にせかせかと消えた。

お吉は、仲間の又助が、何か言ひ出すのを聞いてゐるうちに涙がほろほろとこぼれ出した。

商況　十日前場

海外經濟電報

倫敦金塊	七磅八志六片〇〇
紐育金塊	三五弗〇〇〇
倫敦銀塊	一六片八分〇〇
同先物	一六片八分七
紐育銀塊	—
孟買銀塊	四五留比一六分—

▲市俄古小麥

七月限	六六仙二分一
九月限	六七仙二分一
十二月限	六八仙八分七

▲紐育棉花

現物	九仙八七
七月限	九仙五三
十月限	九仙八二
十二月限	八仙六三
一月限	八仙五二
三月限	八仙四二
五月限	八仙三三

▲印棉

ブローチ	一六〇留比八分一
オーメラ	一五六留比八分〇
ベンゴール	二二留比〇〇七

▲カルカツタ麻袋

鐵筋	二七留比〇〇
青筋	三〇留比〇〇

▲紐育株式

スチール株	四五弗四分一
アナコンダ株	二三弗八分三

▲外國爲替　休

▲滿洲中銀爲替

米英爲替	四弗六八仙一五
米日爲替	
米支爲替	
米佛爲替	
英米爲替	一志二片〇〇
英日爲替	
英支爲替	六片四分三
英佛爲替	一七六法郎北一
印日爲替	七八留比八分五

▲阪神爲替

紐育向	二七弗一六分五
倫敦向	一志二片二分二
對米賣	二七弗三四分一
對米買	二七弗三二分九
對英賣	一志二片〇分〇
對英買	一志二片[illegible]分一〇

各地株式市況

▲東京株式（短期）

	寄付	大引
東新	[illegible]	—
新鐘	[illegible]	[illegible]
大紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
帝新	[illegible]	[illegible]

▲大阪株式（短期）

洋新	
日鐵	
日船	
同新	
郵船	未
日石	
日立	
滿業	
電工	
東電	着
日鐵	
滿新	未着
糖曹	
日新	

▲大連株式（短期）

大新	
新東	
鐘紡	
同新	
滿業	
日書	
帝新	
商船	
五品	
大新	
新東	
滿業	
同紡	
鐘新	
滿鐵	
土木	
豆新	

各地商品市況

▲大阪綿布：七月限、八月限、九月限、十月限、十一月限、十二月限、一月限

▲東京人絹：當限

▲大阪棉花：七月限、八月限、九月限、十月限、十一月限、十二月限、一月限

▲大阪期米：當限、中限、先限

▲大阪人絹：當限、五月限、六月限、七月限

▲横濱生糸：七月限、八月限

各地特産市況

九月限、十月限、十一月限、十二月限

▲新京　●大豆（寄・引・出來高）：先限、七月限、八月限、九月限、十月限、十一月限；●高粱（寄・引・出來高）：先物、七月限、八月限、九月限、十月限、十一月限

▲大連　●大豆（寄・引）：袋入、七月限、八月限、九月限、十月限、十一月限；●豆粕：現物、七月限、八月限、九月限、十月限、十一月限；●豆油：現物、七月限、八月限、九月限、十月限、十一月限

映畫案内

銀座キネマ　電③三八四六五

あわてた友情		1,35	4,25	7,37
ニュース	12,00	3,00	6,00	9,00
佐渡おけさ	12,32	3,23	6,23	9,2 10,30

六日より十日まで　階下七〇錢

豫告十三日より　お伊勢詣り　愛憎の書

帝都キネマ　電③二四〇五

ニュース	11,30	3,10	6,55
漫畫	12,03	3,43	7,30
ロツパの子守唄	12,16	3,56	7,40
曉に踊る	1,35	5,15	9,0 10,30

日曜九時五五分上映　八日より十一日まで

豫告十四日より　春愁　青春野球日記　階下一圓

長春座　電③五七六六

ニュース	12,00	3,34	7,08
明日の踊子	12,13	4,07	7,41
アトラクション	1,54	5,28	9,02
花嫁	2,23	6,16	9,40 10,36

五日より十日まで

豫告次週封切　人妻椿　曉の旗風　八十五錢

岸本チエーン映畫御案内

豐樂劇場

ニュース		1,10	4,10	7,10
若い人の立塲		1,45	4,40	7,4
[illegible]と與太[illegible]	12,00	3,00	6,00	9,00 0,05

開放四十錢　映開時一十前午は曜日迄十日より七日

新京キネマ

ニュース	11,00	2,50	6,40
女性行路	11,22	3,12	7,02
魔像　前篇	12,42	4,32	8,22
魔像　後篇	1,42	5,32	9,2 10,42

階上階下六十五錢

朝日座

ニュース		1,15	4,30	7,47
愛國巡禮歌		1,55	5,10	8,25
衞七生記大會	11,30	2,45	6,00	9,15 10,40

四十錢　七日より十日まで

十一日より　特選怪談映畫週間　朝日座
十四日より　江戸日記　鞍馬天狗　嵐寛壽郎十八番　新京キネマ
豫告十一日より　孩摩と女　エノケンの風來坊　豐樂劇場

〔大正九年十二月四日第三種郵便物認可〕

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓五拾錢 一ヶ月 拾五錢
廣告料金 普通 一行 壹圓五拾錢 特別 一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

第二次總攻擊に渡河點手中に收む

二千の殘敵に殲滅打擊

【ハルハ河畔にて十日發國通至急報】バルシヤガル高地の一角に據り對岸高地よりする砲兵の掩護により頑强にわれに抵抗しつゝあつた殘敵に對しわが○○部隊酒井、出縣、玉田、吉丸の各部隊およびこれに策應してホルステン河南岸ノロ高地より前進する岡本部隊は十日午前零時を期し第二次の總攻擊を敢行した、延長十五キロの全線に亘つて勇猛無比のわが精銳部隊は一齊に進擊し最後の抵抗を續ける頑敵約二千に潰滅的打擊を與へ次ぎ次ぎに敵堅陣を突破して午前四時半ハルハ河畔川叉渡河點に到達し敵の退路を完全に遮斷、僅かに血路を開いてハルハ河右岸に沿ひ北方に遁れた殘敵に對し果敢な追擊を續行してゐる

【ハルハ河畔にて十日發國通】バルシヤガル高地一部に據り最後の足掻きを見せて居た敵陣は十日午前零時を期して敢行されたわが○○部隊の總攻擊により前後五時間に亘る激戰のうち完全にわが手に陷ち、またさきのノモンハン事件において東部隊長が壯烈な戰死を遂げた長恨未だ新たなるハルハ河川叉渡河點は今やわが手中にあり

敵の遺棄死體數百

鹵獲榴彈砲で殘敵猛爆

【ハルハ河畔にて十日發國通至急報】十日未明の總攻擊における敵の損害は極めて甚大で滿領內の遺棄死體數百に達しわが鹵獲せる戰車は五十餘臺、裝甲車、野砲、機關砲その他も夥しい數に上り文字通りの潰滅的打擊である

【ハルハ河畔にて十日發國通至急報】十日未明のわが○○部隊の總攻擊により潰滅的打擊を受け辛うじて血路を開き北方ハルハ河々岸に免れた殘敵は態勢を整へる遑もなくわが攻擊の的となり河岸を右往左往しつゝあり、その兵力狙擊部隊約一千、戰車四十、裝甲車百餘臺程度にしてこれに對するわが包圍圈の壓縮と共に刻々潰滅の一路を辿つてゐる

【バルシヤガルにて十日發國通】バルシヤガル高地潰滅戰で九日わが○○部隊は敵の十五糎榴彈砲三門、野砲二門を鹵獲したが、十五糎榴彈砲は少しも損傷して居らず、砲彈も多量に遺棄しあつたので、わが勇士は「有難く頂戴」とばかりに九日夜から砲口を敵陣に向け直して早速使用、ハルハ河畔に追詰められた殘敵を次ぎ次ぎと木つ葉微塵に粉碎した

岡本部隊 河畔の殘敵掃蕩

【ハルハ河畔十日發國通】ホルステン河南岸の敵右翼を衝いてノロ高地を確保した岡本部隊は滿洲國軍島部隊と協力し午前零時わが酒井、山縣等の諸部隊と呼應し前面の敵陣に果敢な攻擊を加へ五キロ餘、午前三時ハルハ河岸に到達し友軍と協力殘敵掃蕩中である

敵司令官は ジウコフ中將

外蒙駐屯のソ聯軍は第一次ノモンハン事件突發するやウランバートル駐屯の第三十六師團をはじめザバイカル方面より滿蒙國境に動員し、從來外蒙古軍第六師團の守備地區に赤軍の新銳部隊を配し、新司令官にジウコフ中將を任命して全軍の指揮に當らしめてゐる、またホルステン河とハルハ河の合流地點より滿洲國領土を最初に侵犯した百八聯隊の指揮官はレミゾフ少佐であること判明した

凄愴極む夜襲戰

曉を告げるまで四時間

【ハルハ河畔にて十日發國通至急報】九日のわが砲爆擊によつてハルハ河渡河點の橋梁を破壞された殘敵約二千は十日午前零時を期して敢行されたわが總攻擊に對し死物狂ひの抵抗を試み折柄半月の淡い光の下に壯烈を極めた遭遇戰が展開された、彼我の砲兵陣地からは一齊に掩護の猛砲擊が開始されハルハ河畔の大草原を震撼する、百餘臺の戰車は右往左往わが○○砲の的となつてパッパッと火を吹くもの勇敢無比なるわが步兵部隊の○○戰術に脅やかされ進んでわれに投降するもの數知れず夜空に鮮かな花火を彩る榴彈砲の閃き、凄愴な夜襲戰は一時、二時、三時と黎明曉を告げる午前四時まで前後四時間に亘つて續けられた、この間わが精銳は一擧に餘喘を保つ敵陣を蹂躪しハルハ河畔の川股渡河點に到達した、旭日に映ゆる感激の日章旗は翩翻としてバルシヤガル高地の其處彼處に飜つてゐる

敵背後の橋梁爆破

岩井部隊の弔合戰成る

【バルシヤガル高地にて十日發國通】九日夜から十日朝にかけて展開されたバルシヤガル高地西南方地區の戰鬪の蔭に○○の決死的な攻擊が部隊長弔合戰の一こまとして織込まれてゐる、水も洩さぬやうな敵の嚴戒陣を突破して敵の背後地にある橋梁爆破に成功同戰鬪における大成功の素因を作つたこの潛行決死隊は岩井部隊で、同部隊は八日夜わがバルシヤガル攻擊部隊が前線一齊進擊開始の命を受けるや弔合戰の好機至れりとばかり一死報國の決意を示す白鉢卷姿も凜々しく折柄の雷雨を冒してわが前線を出發、十字砲火の下を潛り銃劍きらめく敵陣をまんまと突破したのち悠々ハルハ河、ホルステン河合流地點の橋梁二個の無血爆破に成功、背後を衝かれて狼狽する敵を尻目に隊員一同奇蹟的にかすり傷も負はず歸還したものだが、爆破した橋梁は敵が、渡河點に設けた四個の橋梁中敵砲兵の掩護射擊が熾烈のため殘されてゐた二個の橋梁で、わが陸鷲もかねて空爆の機會を狙つてゐたが、わが岩井部隊がこれを敢行敵の退路を完全に遮斷して今回の赫々たる戰果を齎したものである、岩井部隊の諸勇士は任務敢行後「弔合戰成れり」とお互に相擁して淚のうちに爆破成功を祝し合つた

又も五十九機擊墜

【○○基地にて十日發國通】島田、木村兩部隊○○機は十日田孫部隊の行動掩護のため出動し午後零時卅分頃戰場上空において敵戰鬪機約六十數機と遭遇、地上攻擊と相應じ激烈な空中戰鬪の後E十五型廿三機、E十六型十六機ほか他の空中戰鬪による四機を加へ確實に敵機四十三機を擊墜した

【○○基地十日發國通】野口部隊戰鬪中との情報に接した加藤部隊は十日午後零時四十分加藤部隊長自ら部下を率ゐて急遽基地を離陸、戰場上空において直ちに戰鬪に加入し倉皇遁走せんとするE十六型約四十機に追跡瞬く間にその十六機を確實に、不確實なもの六機計廿二機を擊墜全機無事歸還した、これで十日正午の戰果はさきの野口部隊の分を合し確實五十九、不確實六、計六十五となつた

ソ聯機越境 不法盲爆

我が空の荒鷲のため連日擊墜されながらも性懲りなく執拗に不法越境を繰りかへせる外蒙ソ聯空軍はたゞに國境附近のみならず滿領深く侵入し、滿洲國の要地甘珠爾廟、ハロンアルシャン等に再び爆擊を敢行し日滿民衆を痛く激憤させてゐるが、更に十日判明せるところによれば敵爆擊機約三十機は八日午後八時二十分頃ハロンアルシャン西方約二十四キロ附近の橋梁を目標に約二十個の爆彈を投下したがいづれも目標を外け損害さらになく西北方に逃走した

敵空軍の滅亡近し

我が精銳の前に屈伏

ノモンハン事件發生以來我が陸の荒鷲に擊墜された敵機の數は五月中六十機、六月中二百二十三機、計二百八十三機の多數に達し致命的損傷をうけた外蒙ソ軍空軍はこれを挽回すべく七月四日までに東部外蒙に集結した空中兵力は戰鬪機約百二十機、爆擊機約八十、計二百機に上りこれをもつて一擧に我を屠らんと不法越境を敢行したものゝ、我が空軍の戰鬪技術及び戰鬪精神には所詮抗すべくもなく、或はボイル湖上に於て或はハルハ河上空に於て我が荒鷲のため次から次と擊墜され、八日夕刻頃の敵空軍兵力は僅かに戰鬪機四十機、エス・ベー中爆擊機三十機、テー・ベー重爆擊機二、三機といふ寥々たる數字を示しその後幾分補充の兆候はあるが、我が空軍に擊墜される數の方が遙か大にして西部國境附近に跳梁を恣にした强豪を誇るソ蒙空軍がその影をひそめるのも最早や時間の問題であらう

草原に轟く凱歌

（國境〇〇高地）

汪精衛蹶起聲明に

蔣狼狽、在外使臣に電命

【香港十日發國通】一時鳴りを鎭めてゐた汪精衛氏が敢然立つて和平救國と中國復興、東亞復興の實踐運動に乘り出す旨中外に向つて聲明したことは、今更乍ら敗戰の危機に立つ重慶政府部內は勿論戰禍に喘ぐ奧地民衆、華僑方面に異常な衝動を與へてゐる、重慶來電によれば外交部長王寵惠は九日夜支那の各在外大公使に宛て汪精衛は愈々本日を以つて新政權樹立のため公開運動を開始したるをもつて、當該駐劄國政府に對して汪派の政治運動は重慶政府と何等關係なき旨を說明する樣電命した、一方十日召集豫定の臨時國防最高委員會は汪精衛問題を中心とする時局對策を協議するものと見られる、而して現在支那內部情報の特徵をなすものは中央對地方並に地方實力者相互間の軋轢と浙江、廣東、華僑三財閥の厭戰逃避的態度で、重慶當局の抗戰陣營は時の經過と共に益々その脆弱性を暴露しつゝある

全面的に支持せん

中支軍報道部長談發表

【上海十日發國通】中華日報再刊に際して發表された汪精衛の大論文に對し十日午前中支軍報道部では左の如き報道部長談を發表、汪氏へ對する全面的支持の態度を明らかにした

△報道部長談 昨年十二月重慶脫出以來近衛聲明に呼應して屢々和平救國の大義を唱導し來つた汪精衛氏は最近に至り蔣介石の到底共に國事を語るべからざるを

痛感

し遂に斷乎蔣介石と斷ち自ら正統國民黨を率ゐて同憂具眼の有志と團結し孫總理の意思を闡明實行しもつて日支平和の回復、東亞の復興、新秩序の確立を促進せんとするの決意を固め、十日中華日報を創刊して中國同胞に訴ふるの署名論文を掲げ滿天下の視聽を一身に集めるに至つた、萬難を排し一身を挺してその國家の前途を憂ひ四億民衆を救はんとする烈々たる至情は誠に壯烈であつた、必ずや中支民心を動さずにはおかないであらうと吾々日本人としても汪氏がかくも判然その去就を明かにし日本と提携して東亞和平の確立に身命を捧げんとする熱意を示した以上全面的にこれを支持しあらゆる障碍を排してその目的達成に協力すべきはもとより當然であつて論議の餘地はない、現下東洋の事態を達觀するに中國更生の唯一の道は日支の合作提携にあつて民衆糾合の唯一の方法は和平にありしかるに何時までも長期抗戰を豪語し恃むべからざる第三國の救援を恃んで亡國の一途を辿る蔣介石に對してはむしろ憐みの眼をもつてこれをみるものである、しかし日本國民としては汪氏の

蹶起

により直ちに和平が實現するものと考へることは大なる早計であつて皇軍は依然として蔣政權膺懲の手を寸毫も緩めることなく抗日勢力の存する限り徹底的にこれが武力討滅を期するは勿論、蔣政權を支援するソ聯、英國等の勢力を斷乎排擊しなければならない、わが國が國家の總力をあげて出師の目的を貫徹することはすなはち汪氏蹶起の目的を達し聖戰の意義を達成せしむる所以である、汪氏和平救國の叫びは中國民衆を糾合せんとするもので斷じて和平を勸告したものではない、日本が汪氏を支持する永遠の道は中國の更生東亞新秩序の建設を阻害する抗日勢力の殲滅と援蔣勢力の排擊である、現下東亞の態度は斷じて安易なる平和熱に動かさるゝ長期戰を乘切る決意を消磨すべきではない、汪氏今回の蹶起にあたり吾人は同氏の勇斷に

贊意

を表し全面的にこれを支持するの勞を惜しまざると共に更に

日本朝野の贊意

【東京國通】昨年末重慶を脫出して以來敢然和平救國を提唱しつゝあつた元國民黨副總裁汪精衛は十日上海の中華日報復刊第一號に「余の日支關係に關する根本觀念および前進目標」と題する聲明を掲げ焦土抗日の迷蒙に陷りつゝ支那を第三インター共產黨の魔手に託する蔣介石一派との絕緣を宣言し東亞和平確立のためいよいよ救國運動の實踐に乘出すべき第一聲を放つたが、わが朝野は左の如く汪聲明の所論に全く贊意を表明し、從來とも汪の和平提唱は國民黨正統派はじめ反共軍人、青年知識階級、財界人の間に深刻な反響を呼び起してゐたことではあり、その救國運動の將來に多大の注目を拂つてゐる

一、今回の汪聲明が今や日本全國の輿論であり國民的信念たる近衛聲明に全幅的に共鳴し親日防共を樞軸として日支和平を恢復し、進んで東亞和平の確立に貢献せんとの決意を表明したことはよく我方の眞意を理解したものと言ふ可きである

一、汪が支那四億の民衆に向つて、今我々の前には二つの途があると述べ、蔣介石に從つて抗戰を繼續することは親善國家民族を共產黨に延いては第三インターの犧牲に供し母國を亡し種族を滅す途であると說き、蔣介石との絕緣を勸說してゐる點は今回の聲明の白眉であらう

一、日本の眞の目的は支那を獨立國として完成せしめるにあり、汪は日本の提唱する共同防共及び經濟提携は東亞に於ける共產黨の攪亂及び侵略といふ二大害毒を根絕する責任を支那に分擔せしめんとするもので、これは支那に十分なる自由獨立があつてはじめて可能であると說き、故孫文の遺志に基き對日仇敵感情を解くべきことを提唱してゐる點はよく我が眞意を傳へたものといふべく、右は聲明の冒頭に「日本なくしては東亞なし」と喝破せると共によく東亞の實相を認識せるものと言ふべきである

緊褌一番上下團結して國家の總力を擧げ聖戰の大目的貫徹に邁進するの覺悟を新たにすべき要あるを痛感する次第である

北南支戰況

【上海十日發國通】艦隊報道部七月十日午後四時發表

△北支方面戰況

一、去る八、九兩日にわたり海軍航空部隊は山東省龍口の南海地區および招遠東方地區の敵據點を連續爆擊しこれに多大の損害を與へたり

△南支方面戰況

一、海軍航空部隊の精銳は去る八日廣西省中央部の要衝柳州を急襲し同地飛行場東北部の建築物および東南部の軍事施設に多數の直擊彈を投下しこれに甚大なる損害を與へたり、本戰鬪中飛行場附近より敵の高角砲および大型機銃の防禦砲火ありたるもわが方損害なく全機無事歸還せり

二、同日他の空襲部隊は福建省金牌門および長門砲臺附近の敵據點およびその上流に集結中の敵軍用汽艇群(五十トン乃至百十トン)を爆擊しそのうち五隻を粉碎三隻を大破せしめたるほか浙江省溫州江口崎頭山陣地を爆擊しこれに大なる損害を與へたり

蘇北六月中戰果

【濟南十日發國通】○○部隊の蘇北における六月中の討伐綜合戰果左の如し

交戰回數 一〇五、交戰敵兵力 二四、一六〇、遺棄死體 一、五七八、捕虜六〇、鹵獲兵器＝小銃四二五、同彈藥一四、〇三八、拳銃二〇、同彈藥九一、輕機九、迫擊砲彈五一、野砲二四、自動小銃二、手榴彈一四五、地雷一八、馬一〇、無電機三、電話機二、自動車六、圓匙七

偶語

事變二ヶ年の戰果は陸海いづれを問はず前人未踏の大偉業と稱してなほ盡し得ざるものがある▼われらは今更ながら無敵日本に生を享けたる誇りを禁じ得ないが動もすれば世界を震憾せしめたる華々しき一面を凝視するの餘り更にも重大なる功績を忘るゝことなきか▼特に海軍部隊に關しては寡よく衆を制したる陸戰隊の奮戰や四百餘州を翼下に壓したる海鷲の長驅に絕讚を送つてゐるが▼陸戰隊や海鷲の活躍は實に海軍の附隨的戰績に過ぎないのだ▼列國の建艦と連衡の策謀を尻目に西太平洋の制海徵動だもせしめざる苦心の程を知らねばならぬ▼暫時姿を晦ましてゐた蔣介石チタに飛びソ聯外蒙と軍事協定を締結した▼その魂膽は中南支に於ける日本軍の作戰を牽制するためソ聯をして外蒙の空軍騎兵隊を總出動させ滿洲國外蒙國境外蒙綏遠國境を不斷に襲擊させるにありといふ▼このことはちよいと勞ち過ぎたる感なしとせざるもかくあることも想像出來るのである

社說

對歐洲策の問題

事變の處理は世界情勢と不可分の關係を持つてゐる。この事を認識する以上、われわれは歐洲情勢への對處策といふものを重要視しなければならぬことは極めて明白である。防共協定の締結によつて日本の外交政策にはすでに一定の軌道が與へられてゐることは確かなことである。然らば今後機會ある每にこれを强化して行くことは當然の筋道でこれについて今さら論議する餘地は存しない。しかしながら現實の問題としては、歐洲情勢の發展がこれに新しい要素を加味して來たために、事はつねにさう簡單にも運ばないやうになつたのである。すなはち一方にはソ聯の軍事的脆弱性が暴露されたといふことがある。他方には獨伊の對英佛關係の緊迫によつて、防共樞軸に新しい課題が加へられたといふことがある。獨伊對英佛の對立は、直ちに全體主義國家と民主主義國家の對立にまで發展すべきものである。したがつて防共協定の强化が、單に從來のソ聯關係に限定されてゐた範圍を飛び越え、豫想されるあらゆる事態への對應策を含むに至ることもまた當然の歸結である。獨伊軍事同盟もこの當然の歸結の所產に外ならぬのである。

日本もまた防共樞軸の一環として、また支那事變を中心として英米佛の勢力に對抗しつゝある現狀よりして、大體に於いて獨伊と同じ立場に立つてゐることは明かである。もとより地理的條件の相違、支那事變によつて受けつゝある國民的な負擔、米國との關係等より見て、全く獨伊と同等な立場に立つものではないが、ともあれ、このやうな歐洲の新事態、支那事變處理と不可分の關係を持つこの新事態に即應すべき方策は、日本が對英佛關係を全的に淸算する決意、原則が確立されて居つてはじめて割り出されて來るものなのである。その意味で今次の日英東京會談の成り行きも大いに注目されるところである。

事變の直接の當事者は蔣政權であつても、對抗勢力の實體が英、米、佛、ソ聯であることは當初から一目瞭然であつた。したがつて今日に至るまでに對英佛關係を處理すべき大方針が決定され、その線に沿つてのあらゆる工作が積極的に行はれてゐるべきであつた。それは事變當初から日本の政治に課せられた大きな課題の一つであつた、それが最近になつて數十回に亘つて五相會議を開いてこれを決定したなどといふのは遲きに過ぎたのである。無方針乃至それに近い有樣で事變の進展に引ずり廻されるやうなことがあつてはならぬのである。宜しく一定の方向が與へられねばならぬ。われわれはそれを待望するものである。

日支提携によつて 孫總理の遺志は完成す

汪、全支にラヂオ放送

【上海十日發國通】去る六月十二日香港において抗戰の眞相と題する聲明を發表、對日抗戰とその見透しに關する蔣介石の根本的な誤謬を詳細に指摘し中國とその種族の繁榮のために最後の反省を促した汪精衛は九日午後十時（滿洲時間）突如某地より「吾人の日支關係に對する根本觀念と前進目標」と題して北京語及び廣東語による堂々一時間に亘るラヂオ放送を行ひ全支民衆に對して烈々たる愛國の至情を吐露し今次事變の終止新東亞建設の揺ぎなき信念を闡明するところあつた、即ち日支兩國はその民族的必然性により共同生存、共同發展を遂ぐべき運命を持つものであり緊密なる日支提携によつてこそはじめて孫總理の遺志は完成されるであらうと述べ蔣の誤れる抗戰方策に對し再三再四反省を促したるにも拘らず依然その非を悟らず共產黨に追從國家と民族の犧牲において徒らに抗戰を續けつゝある蔣介石に對し絕緣を聲明、眞に日支共存を目指す近衛聲明の三原則に副ひ、今や中國復興東亞の建設に邁進すべきであることを强調しなほ廣東語の放送では

自分は廣東人なるが故に同鄕人に對し特別自已の所信を訴へたい、蔣介石は抗戰到底を今なほ主張してゐるが既に多數の軍隊を失ひ抗戰力もなく廣大な土地を失ひ明かに敗戰してゐる、余も事變當初は抗戰を主張した、その後和平を提唱したことに對し或る者は矛盾せりとの言を吐くが和平すべき時期が到來した際これを提唱するに何の矛盾があらう、現在は遊擊戰に辛うじて日本に對抗してゐるに過ぎぬが、この遊擊戰たるや無賴漢が支那良民を徒らに殺傷し或は掠奪を强行するのみで日本に對する抗戰とは云へない、海外の華僑等よ君達は國を離れて蔣の逆宣傳に踊らされてゐるからこの眞相を知るまい、一度本國へ歸り自分等の故鄕へ歸つて見給へ、如何に蔣の遊擊戰のため蹂躪されてゐるかゞ分るであらう、余は十三才の時から國民黨に入り現在五十四才に至るまで國事に奔走し來つた、然るに現在國民黨員は蔣の迫害を恐れて余の意見を聽かうとする者が居ない事は甚だ遺憾である、蔣は中國民衆を欺し得ても余は決して欺されぬ、余は凡ゆる壓迫、障碍を排除して自己の所信に向つて邁進せんとする決心である

と歷史的獅子吼をなした

南京市民感動

【南京十日發國通】九日夜突如マイクを通じて流れた汪精衛の興亞の雄呼びは東亞新秩序建設運動の第三日を迎へて興亞精神愈々高調せる南京五十萬市民に强い感銘を與へた夫子廟の廣場や市內各所に備へつけられたラヂオ塔は市民の山で埋められ事變後始めて聽く「吾等が領袖」の力强い聲に感激し街頭から家庭から「汪精衛萬歲」の聲が潮のやうに擴つて行つた

擧つて汪氏支援

維新政府仁部長談

【南京十日發國通】維新政府綏靖部長仁援道氏は九日夜の汪精衛の歷史的獅子吼を聞き感激して左の如く語つた

只今汪先生の放送を拜聽したが、汪先生の主張されるところは維新政府創立以來政府同人が等しく抱いてゐたものと同一だ、御趣旨には全く同感した、われ等同人は擧つて先生を歡迎し、全力量を擧げて先生を支援するものである、先生の力量は頗る大であるが、われ等が支援すれば一層早く成功を得るに違ひない、目下青島に赴かれてゐる梁、溫兩院長も汪先生の主張に滿腔の同意を表されることであらう

舟山島附近掃蕩

海軍部隊中支に活躍

【上海九日發國通】艦隊報道部九日午後四時發表＝

一、中支方面において六月廿三日舟山島攻略に偉功を奏したるわが封鎖部隊の一部は引續きその有力なる陸戰隊及び艦艇を以て附近の島嶼金塘島、普陀山、馬目山、長白山、金河山、桃花山、六横山その他を逐次掃蕩、殘敵を潰滅するとゝもに一方定海、沈家門を始め各地における治安維持會の結成を促進し水陸一帶に亘る治安の確保及び警備の完璧を期し不斷の努力をしつゝあり

二、七日海軍航空隊の活躍左の如し

（イ）鎭海及び台州附近において砲台、兵舍及びその他の軍事施設を攻擊、これに多大の損害を與へたり

（ロ）陸軍の作戰に協力、敵策動の機先を制し有力部隊を以つて南昌及び奉新附近の敵陣地を奇襲し、これに大打擊を與へるとゝもに敵前線一帶に亘り傳單數萬枚を撒布せり

青島居留民の反英大會

【青島九日發國通】青島日本居留民反英大會は九日午後五時移民團ホールにおいて開催暴虐な英膺懲の義憤に燃える居留民は會場內外に溢れその數五千に達し宣言決議を行ひ中央要人に激勵電を發した

排英神戶市民大會

【神戶國通】援蔣根絕排英神戶市民大會は九日夜、湊川公園において擧行された、參會者は主催者側の大亞細亞協會神戶市協會聯合會および出征遺家族一般市民ならびに在神華僑二百餘名、印度人卅餘名、その他ユダヤ、トルコの回敎徒獨伊人等合せて無慮六萬、會場は國際色に彩られて大盛況を呈し大亞細亞協會代表法橋三郎氏の反英打倒蔣介石の激勵の辭に次いで宣言決議を行ひ政府當局に打電激勵すると共にチエンバレン英首相、ハリファックス英外相、カー駐支大使に決議文を打電し聖壽萬歲を三唱して散會した

國事に奔走

愛妻死別の悲嘆秘め 梁委員長の感激秘話

【南京九日發國通】中支再建の指導者として三千萬民衆の期待を雙肩に負つて梁鴻志は目下第五次聯合委員會に出席すべく青島へ渡航の途にあるが、氏今回の出發に際し氏が如何に新東亞建設のため一切の自己を捨てゝ盡力してゐるかを如實に物語る秘話が傳へられ日支人總べてが强い感激に胸を打たれてゐる、即ち四十餘年の永い間氏と苦樂を共にして來た第一夫人闞尹氏が約半年前から喉頭癌に冒され上海の自宅で療養を續けてゐるが、南京にあつて日夜中國更生の激務に追はれてゐる氏は病妻を見舞ふ暇が得られなかつた、七月に入つて病は全く絕望となり五日突如訃報に接したが、遂に臨終に間に合はなかつた六日南京を出て上海に向つた、氏は二夜をつき添つたのみで喪に服する暇もなく青島に向つた、この間の態度は悲痛を深く胸底に秘め些かも動搖の色を示さず常の溫容をたゝへて離滬したのであつた、側近者以外はこの不幸を殆んど知らず出發後これを傳へ聞くもの今更乍ら氏の心事を察し淚をそゝるとゝもに國務のためには一身を捨てゝ省みない高邁な人格に强く心を打たれた

皇軍、澄海占領

縣政府前で萬歲

認識是正せずば 租界隔絕も已むなし

武漢市政府 佛租界に嚴重抗議

【漢口十日發國通】漢口フランス租界工部局の華中青年協會員檢束事件について張武漢特別市長は十日午後九時レノオ佛總領事代理に對し文書をもつて

一、東亞新秩序建設運動妨害に對する陳謝一、檢束中の中國人の即時釋放一、沒收國旗傳單の返還

の三項目について嚴重抗議すると共に若し租界側において誠意ある態度を示さざる場合は市政府としては斷乎適切なる措置を講ずる用意ある旨を附言、租界當局の注意を喚起した、市政府側ではかゝる不法事件の發生は三鎭民間に澎湃たる新秩序建設要望に對し佛租界當局が故意に眼を蔽はんとする誤つた態度に原因してゐるとして飽まで租界側において認識を是正せざる場合は租界隔絕も已むなしとしてゐる

英艦わが軍用船を破損 直ちに陳謝す

【天津九日發國通】七日午前十時頃特三區浪速公園前白河回船場において英艦ローウエスト號が河口に向け回船中誤つてわが軍所屬發動機附木船に衝突、殆んど使用に堪へぬ程度に破損せしめた、右事件に關してわが軍當局ではこれに何等の抗議も提出せず英國の態度を監視してゐたが八日英國總領事館より天津三井洋務課長を通じて

誤つて日本側木船を破損したから損害の程度を調査の上辨償したい

と陳謝の意を表して來たのでわが方では英國側の自發的謝罪に對し誠意を認めて損害金等要求せず陳謝にてこと足るべしとの意思を表明したところ英國側はわが方の紳士的態度に痛く感激ジエミーソン英總領事は艦長ハーペイ大尉を伴ひ九日正午日曜日にも拘らずわが總領事館に田代總領事を訪問陳謝の意を表しハーペイ艦長は島領事に伴はれ右木船所屬部隊を訪問部隊長に陳謝したので問題は圓滿に解決した、從來英國側はかゝる事件に對しては頰かむり主義をとり陳謝は勿論辨償金等の問題には言を左右にして全く觸れないのを常としてゐたがとしてわが現地當局の强硬態度に辟易した英國側が東京會談を前にしてわが現地軍側を刺戟をせぬやう如何に警戒してゐるかを物語るものとして頗る注目されてゐる

滿蒙國境の護り 呼倫貝爾高原

その地理的特殊性

哈爾哈河國境を侵犯して不法驕慢の限りを盡してゐるソ蒙軍に對して日滿聯合軍は七月三日拂曉を期して徹底膺懲の痛烈なる火蓋を切つた、呼倫貝爾（ホロンバイル）高原は今や濛々たる戰雲に蔽はれ越境ソ蒙軍を完全に國境線外に驅逐し今後再び繰返へし得ざるまでの打擊を與へざれば已まぬ決意を以て進擊を續けてゐる、然らば日滿軍とソ蒙軍の戰場と化したホロンバイルとは如何なるところかホロンバイル（呼倫貝爾）とは滿洲國の西北部興安北省に屬する約十六萬平方キロ（百里平方）にわたる廣大な地域を指すもので元來所謂蒙古の地として蒙古人在住の特殊地帶とされて來た、ホロンバイルの名稱は此地方の二大オアシスとも言ふべきホロン（呼倫）とボイル（貝爾）湖に因んで生れたもので現在の省部ハイラル（海拉爾）を今でも土着蒙古人の間ではホロンバイルと呼んでゐる事實に照らしても此ロマンチックなホロンバイルの名と土が彼等にとつて如何に忘れる事の出來ないものであるかゞ窺はれやう、北東一帶には興安嶺山地を背負ひ又西南は高平原地帶とそれを流れる水流に富み全蒙古に於ける地理的中心地帶を形成してゐる、即ち、東南興安嶺山中に水源を持つハルハ（哈爾哈）河は北西流して外蒙との國境線を形成しつゝボイル湖に注ぎ、ボイル湖はウルツユン（烏爾順）河によりホロン湖に通り又外蒙より東流するケルシン（克魯倫）河はホロン湖に入りホロン湖より東流するものにハイラル（海拉爾）河があり、其主流は北に分れてアルグン（額爾克納）河となりソ滿國境を北流して黑龍江上流に合す、斯くの如く東北及び東南は山嶽によつて興安省及び同南省との間に自然的境界を有つに對し西南は平原のため僅に河底の移動さへ常ならざる河川に據る以外には何等自然的境界なく畢竟之がホロンバイルの地理、歷史を通ずる基本的特徵胚胎の最大原因となつて居り、當面の滿蒙國境紛爭の禍根も亦自ら暴逆無盡のソ聯の策謀によつて此點に植え付けられにものと解し得られるのである。

□　□

抑々ホロンバイルが蒙古族の占有に歸したのは實に七百餘年の昔彼の成吉思汗により史上未見の一大帝國の建設成つた蒙古族勃興期以來の事である、然し乍ら現在此地方に居住する蒙古人は僅か二萬五千に過ぎず在滿蒙古人百三十萬、全蒙古族三百萬といふ數字の上からすれば寧ろ意外とせざるを得まい、更に蒙古族の分布狀況を大別するに滿洲百三十萬（內興安各省四十五萬）內蒙古四十萬外蒙古八十萬、新疆其他五十萬、計三百萬と云はれ、日本の支持を受ける防共陣營側の百七十萬に對しソ聯赤化陣營側は百三十萬を示し四十萬の差を以てオール蒙古民族は二分されてゐる譯だ、またホロンバイルに住む蒙古人を種別すれば最も多い新バルガが一萬六千を算しハイラル河以南の西大半に及ぶ肥沃な草原地帶に住み、次は陳バルガの五千五百で之はハイラル河沿ひに、其他ソ聯ザバイカル地方から移住し來つたブリヤート三千がハイラル南方シニヘ河流域に、又數は四百足らずだがエルートが伊敏河上流に夫々五族協和王道主義の理想下に營々として其本來の生業遊牧生活にいそしんでゐる、尙ホロンバイルに特異の存在をなすものとしてツングース系民族に屬するメルフ族六百があり、ハイラルを繞る南屯及び西屯に住みハイラル政廳首腦部を作り軍政幹部の地位に在るブリヤート蒙古人とゝもにホロンバイルの實質的指導權を握つてゐることは特筆に値しやう、從つて滿蒙國境線に近いハイラル以南の北の西半は數においても最も多いバルガ（巴爾虎）蒙古人の地であり、ホロンバマルの別名を「バルガ」と呼ぶ點に鑑みても此地域こそ眞實の意味においてのホロンバイルだと解されるのである。

□　□

今回の事件でお馴染のノモンハンをはじめ甘珠爾廟、阿穆古朗、哈爾哈廟、ツアガンオボ等は當然此地域に包含される譯だ、ホロンバイルにおけるラマ敎の勢力は歷史的には遙かに古いシヤーマン（薩滿）敎を壓倒凌駕し、最近においてはシヤーマン敎は漸次ラマ敎に溶け込みつゝあり、ラマ敎は蒙古人一般民衆の日常生活及び社會生活上最も重要な地立を占め、ラマは僧侶たると共に又學者であり更に顏役たるの勢力を有ち、ラマ廟の負擔は一切自治團體たる旗が負ふ有樣である、蒙古族間にラマ敎が發達したのは遠く淸の時代以來のことで、淸は蒙古統治上の政策的見地から各地に宏壯な廟を建立し純朴、剽悍、殺伐な彼等を之によつて精神的に麻痺せしめ、家庭には男子一人を殘し他の男子は悉くラマ僧とし徒食せしめる風習を作つた、今日蒙古人に貧困者が多い最大の原因は此處にあると云はれるホロンバイル內のみでも廟は甘珠爾廟を筆頭に四十四箇所に上る。

□　□

滿洲國軍は蒙古地帶の治安維持のため興安軍を興亞四省に配置してゐるが、ホロンバイルが有つ國防的特殊重要性よりハイラルに北區司令部を設け○○國の常備兵力を有し關東軍の指導協力下に滿蒙、滿ソ兩國境線の護りに萬全を期してゐる、また此の地方に於ける畜業は蒙古人本來の民族性及び社會組織よりして牧畜が斷然首位に列せられることは蓋し當然の歸趨であらう其の種類と頭數を示せば次の如くである

牛十八萬四千三百頭、馬十二萬二千頭、緬羊九十五萬六千五百頭、山羊三萬五千頭、豚四千頭、駱駝七千頭

而して牛、馬、緬羊、駱駝に於ては斷然他の滿洲蒙地各省を拔き全滿を通じても極めて優位に在ることは之亦ホロンバイルの特異性として强調し得よう、また滿洲國が近き將來に於て石炭王國を築かんと意氣込んでゐる熱河の資源と共に、メライ湖北方の札賚諾爾（ジヤライ・ノール）炭鑛（滿洲里東方二十七キロ）が此の地方に在ることは又何と心强い極みではないか、埋藏量七十萬噸、面積東西に二十キロ、南北に四十キロ更に甘珠爾廟附近の沼澤よりは天然曹達又またダライ、ボイル兩湖を結ぶウルシユン河沿岸よりは耐火粘土及び石灰が發見された

ボルガの船歌口に 全癒待つ赤軍捕虜

我手厚い看護に感激

【〇〇にて十日發國通】去る廿九日のハルハ河前面地區の戰鬪においてわが鐵牛部隊の包圍攻撃を受け白旗を掲げて投降したウランバートル駐屯百八聯隊の對戰車砲隊のブデンコ・イワン・プロポヒエルヴイツチ（二四）とジュラヴイヨフ・クレメンテ・グリゴリヴイツチ（二二）の兩赤兵は目下〇〇の陸軍病院に收容され、親切な軍醫と大坪、吉澤、藤岡、松橋の四名の看護婦さん達の手厚い看護を受けヴオルガの舟歌を口ずさみつゝ全く安心しきつた心境で全癒の日を待ちわびてゐる、十日病院を訪れると涼しい風が窓からひんやりと流れ込み看護婦さんの心やりか枕邊に飾られた白百合の花がゆらゆらと揺れてゐた、白衣を纏ひベッドに横つた捕虜は靈峰富士を描いた圓扇を手にして靜かに動かしてゐた、病室の壁には曾つてこの室で戰傷の身を横へた勇士が書いた「選ばれてこそこの重荷」と言ふ名殘の額がかゝつてゐた「どうだ具合は！」と切り出すと、御覽の通りですとブデンコが骨折した左足のギプスを指してにつこり笑ふ、大坪看護婦さんが横から大變およろしいですよと言ふと、ハラショ！ハラショ！と言つて藥を指さすハルハ河右岸地區の戰鬪の模樣が聞き度いんだがと來意を告げると當時の模樣を次の如くぼつりぼつり語り出した【寫眞は戰鬪の模樣を語るソ聯捕虜】

最初のノモンハン事件で外蒙ソ聯軍がこつぴどくやられた二十八日ウランバードル駐屯軍司令官フイトレンコ中將が更迭され、新司令官にジウコフ中將が就任したので變に思つてゐたら、われわれの百八聯隊に出動命令が下つた、そして政治指導員が日滿軍が外蒙領土を侵犯したので

反撃す

るのだと說明した、自動車と徒歩行軍を續けて六月廿日夕刻對戰車砲中隊である、われわれはハルハ河近くに到着した、ハルハ河に架けられた鐵舟の軍橋を渡つて進撃した、もうこの頃はバルシヤガルとメロ高地附近で砲聲のするのを聞いた、廿九日夜私とほかに九名が對戰車砲一門を配備されて斥候に出た、本隊である百八聯隊と外蒙軍第六師團及び騎兵旅團がわれわれを追及すると云ふ話しだつたので安心してぐんぐん進んだ日本軍の戰車を生捕りだなどと笑ひながら塹壕を掘つてゐるとガガ……と云ふ戰車の轟音が聞えて來た、射手であつたこのジュラヴイヨフが數發ぶつ放したのだが、一發も命中せず日本軍の戰車が塹壕にのしかゝつて來てビリビリッと同志がひき肉のやうになつた、續いてタタター と戰車機銃の掃射をくつてバタバタと數名倒れてハッと氣がつくと私とこのジュラヴイヨフの二人だけが殘つてゐることに氣がついた、もう駄目だと思つて逃げ出さうとしたらポンと一發音がしたと思つたらガックリ左の足が折れてしまつた、ジュラヴイヨフは脫兎の如く逃げたのだが戰車から飛び降りて來た日本兵のために小銃でガンと頭を叩かれてどつと倒れてしまつた、私は抵抗しない抵抗しないと叫び續けた、そして小銃彈六十四發と

拳銃を

を投げ出して兩手を擧げた、戰車から降りて來た日本軍の將校がにやりと笑つたのでぞーつとした、殺されると思つたからだ、併しその將校は私とジュラヴイヨフを戰車に收容しどんどん出血する左の足をハンカチを三枚つないでしつかりとしばつて與れた、外蒙では日本軍に捕虜になつたら必ず殺されるやうに聞いてゐたが、そうでなかつたのだ、國境から百四十キロ後方のタムスクスームから戰線に輸送されてゐたパンもスープも今こうして支給されてゐる食事と比較すると全く石と砂のやうだ出動するときは戰死する覺悟で勇み立つたのだが、日本軍のあのすさまじい壓力を目のあたりに見ると電氣に感電したやうに戰意が喪失する、どうしても勝つことが出來ないと云ふ氣になる、不思議だ全く不思議でならない、ウランバートルにはソ聯の婦人が來てゐる今年の冬頃からどんどん乘り込んで來てゐる、私が目擊したものでも六百名以上に及んでゐる、將官のマダムと病院や倶樂部のサヴイスをやつてゐるのだが、おいージユラヴイヨフそうだらう、チエツわれわれには何の役得もない日本軍の何が一番こわかつたかつて……、勿論爆擊だつた、非常に正確でダワンと落ちて土をかぶつた時はもう駄目だと思つて首をなでゝ見た、それから戰車と日本兵の眼光だつた、ソ聯の飛行機が擊墜されて行くのも見た、ソ聯の空軍が九機バタバタと落された、それも日本の飛行機は僅か三機で攻擊し、ソ聯機は廿機もあつたらうか、情なく思つた、タムスクではソ聯の英雄赤兵と云ふ新聞を發して兵の士氣を鼓舞してゐるが、戰場で本當の力をまざまざと見せられるのでソ聯の英雄も顏まけですね、いま何が一番心配かと言へばそれは足の負傷だ、上官のことも

戰友の

ことを思つても致し方がない、鞭打たれてゐた私が上官を思ふなんて氣になれると思ひますか

轟く大地！空から觀戰

密集人馬の眞ッ只中 巨彈、見事命中

火をはく敵渡河點

【〇〇基地九日發國通】地上作戰がいよいよ詰めに近づいた九日朝記者は敵戰鬪機の出沒する戰場一帶を觀戰すべく伊藤曹長の操縱する快速機に搭乘、〇〇基地を飛立つた、〇〇基地からバルシヤガル高地まではほんの一飛びである、機が大きく一旋回して

機首を

東南に向け高度二千をとるとアムクロ、ノモトソーリンが直ぐ眼の下に現はれ空は海のやうに蒼く視界は充分だ、ノモトソーリンからノモンハン附近に至る白く走る道路には點々と黑いものが見える、車輛らしいと思つてゐると傳聲管を傳つて伊藤曹長のだみ聲が「あれがバルシヤガルです」と敎へる、道路に沿つて飛ぶ機の翼が大きく揺れるとハルハ河の黑い流れが溢れるばかり蛇行して延びてゐる、數日前の爆擊行に參加した頃とは大部水量が增してゐるやうに見えた、ボツボツ友軍の姿が散見される、ハルハ河に近づくと敵の高射砲に狙はれるといふので機はノモンハンからバルシヤガル高地に進む、友軍の陣地はどの邊だらうと硝子越に覗いて見るが一寸見當がつかない「ホレ煙が上つたところだよ」と伊藤曹長が怒鳴る、地上部隊はホルステン河の中程を左翼としてバルシヤガル高地から蜿曲してハルハ河まで陣地を進めてゐる「ゐるゐる」砂丘の中に至るところに見える、白い砂地、その凹地の蔭に濆隊をなして黑いものが點々としてゐる、友軍の戰車だ、ちよつと疊の上に動く蚤といつた形その後方にパッパッと閃光と共に白煙が上る、砲兵隊の砲擊だ、白煙の上る度にハルハ河とホルステン河の合流點附近に黑い煙がモクモクと現はれる、機は友軍の陣地頭上をハルハ河畔に飛ぶ、對岸の臺地と河畔の地隊には飛來で驚きふためく車輛、戰車、ソ聯兵の姿が蟻のやうに散る、大きくロを閉いた戰車まだ燃えてゐる、戰車がデットして動かない突如、大地の蔭からパッパッパッと三連續の火が閃めいた、續いてわれわれの機の

行手に

ガンガンガンと白煙が浮んで炸裂する、高射砲だと氣づくと伊藤曹長はグッとレバーを引く機は合流點の敵の頭上を突破して見る間に左に旋回した、合流點附近の渡河點には眞黑い程人馬、車輛で押合つてゐる、バルシヤガル高地の敵は友軍の壓迫に堪へ兼ねて退却を開始したのだ、渡河點兩側の木橋は無殘にもへし折られてブスブスくすぶつてゐる、昨日の空爆で破壞されたのである、その折伊藤曹長の聲が耳元で怒鳴つた、「爆擊ですよ」と右手を見ると友軍の〇〇が三機白銀の機體を泳がせてハルハ河上空をこちらに向つて來る、記者は今目前に展開されやうとする壯觀を念頭に描いて固唾を呑んだ、〇〇は合流點手前に來るとぐつと機首を下げ物凄いスピードで地上に突込む、「アッ」と眼をつぶつて開くと渡河點に密集した人馬の眞只中でパッパッパッと火を噴く、續いて馬がはね飛ぶ、人が毬のやうに飛上る、見事命中だ、恐しいまでに的確である、〇〇は更に機體をかわして今度は臺地の車輛を狙ひはじめた友軍陣地では熾んに日章旗を振つてゐる、多分萬歲をしてゐるのだらう、歩兵が壕を飛出して突擊するとみるや友軍砲兵の射彈はぐんとのびて

爆擊に

呼應する如くパッパッと射つ戰車が煙を噴いておりぢり進む、まるで演習のやうな整然たる立體攻擊だ、かうなると敵は手も出せないらしく射つて來ない、記者と伊藤曹長は手を叩かんばかりの興奮でたゞ呆然と眺めてゐた「歸りますよ」と叫ぶ曹長の聲と共に機はぐうつと左に旋回した、記者は二度と見られない壯絕な空中の攻擊を忘れ難く基地に着くまで何度も振返つた

滿洲向けにも許可制

關東州金輸出

關東州では金の政府集中のため日本內地と呼應してこの程金使用制限の强化を實施また金の保有狀況調査も日本と同樣七月一日から實施してゐるが、關東州より滿洲國向けの輸出が自由となつて居るところより關東州內の金所有者が不純の動機により金を滿洲國內へ輸出する者がある現狀に鑑みこれを防止するため今回關東州外國爲替管理規則を改正七月八日より實施した、即ち現在滿洲國では金の使用制限令を公布して居らず、また保有狀況調査も實施してゐないので關東州內金所有者は高價賣買の目的を以て滿洲國へ金を輸出し、それによつて滿洲國へ流入せる金は或は滿人間の金貯藏の習慣に依つて民間に死藏され或は滿洲國より支那各地へ輸出されるといふ憂ふべき現象を呈してゐる關東州當局では右に鑑み七月八日を以て外國爲替管理規則第一條及び同施行細則第三條を改正實施し滿洲國內への金輸出も第三國向と同樣大使の許可を要することゝした、右に依つて關東州より不純な動機による金の移動は阻止されることゝなるが、實施に當つては取締りの萬全を期することは困難で、金の移動ならびに國外流出は今後も幾分行はれるものと豫想せざるを得ずこれが對策として滿洲國においても日本の金政策と呼應した何等かの措置を講ずべしとの論が一部に行はれまた金の滿洲國外への流出に就ての取締徹底の必要が痛感されてゐる尙今回の許可制實施に當り關東州より滿洲國への旅行者の携帶する身廻品及び身邊裝飾品に就ては正式の許可申請手續に依らず大連税務署、大連驛派出官吏に現品を呈示しその許可を受けることゝなつてゐる

商況 十日後場

各地株式市況

●大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
五品	一六九〇	一六九〇
大新	六七四〇	六八一〇
新東	一三九五〇	一三〇五〇
滿藥	七三五〇	七三七〇
鐘紡	一四五・七〇	一三二八〇
同新	（[illegible]）	（[illegible]）
滿鐵	六七六〇	一
土木	一	一
豆新	一	一

●奉天株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	一	一
鐘紡	一	一
同新	一	一

10.20

手形交換高（十日）

八五枚　二、四二〇、四四二、八九錢

開拓地便り

▽【彌榮長野區十日發國通】長野區には神奈川第二小隊が今雨のため待機中だ、晴耕雨讀によつて雨の日は講話や訓示などを聽いて漸く憂さを晴らしてゐるが、夕方になるとどうもぢつとしてゐられず早速川に飛出し人馴れのしない魚釣りに興じ夜は魚のてんぷらに北滿の魚も一寸食へるわいと舌鼓を打つてゐる、この隊は滿洲の土壤と日本の種子の發芽を自ら體驗したいとて小松菜、小蕪、ほうれん草や練馬大根などの種子を日本より持參し勤勞奉仕を通じて滿洲農業の研究をしやうとして既に播種も終り隊員は勤勞奉仕と研究の結果を見るといふ二重の喜びに浸つてゐる

▽【彌榮村十日發國通】われわれは今北滿開拓地巡歷を濟ませて此處日滿開拓國策と切れぬ因緣の深い歷史的彌榮村に來た、日滿開拓國策に磐石不動の安定觀を確立した名も床しい彌榮村は今幾多の英靈靜かに抱擁して山も河も草も木も總て新らしい萬穀の成育を樂しむが如くである、取り分けわれわれの忘れることの出來ぬのは例の土龍山事件と東宮大佐の功績で、この二つの記錄は彌榮ゆるとゝもになほ更に深く聞く者の胸を打つのだ、六里四方といふこの村には生死を賭してこの村を育くんだ隊員が十四部落に分れ家族等は今平和な新日本農村を造り上げ、鷄鳴さへ聞くといふ全くの安定ぶりだ、此處に奉仕する隊員は江戸つ子の兄ちやん部隊三小隊百二十一名と香川三小隊百二十七名、計二百四十八名が働いてゐるが、廣い村のことゝて各部隊は分散配置に就いてをり東京の兄ちやん部隊三小隊は村の中央にある本部附近に神奈川一小隊は本部から五里もある向陽山訓練所に第三小隊は本部から三里の岩手部落、第二小隊は本部より二里半の長野部落にそれぞれ分駐、一、二、三の各小隊それぞれ二、三里の間隔をおいてゐる、中隊本部は神奈川も東京も一緒になつて彌榮村役場の一室を借り受けてゐるが、この中隊本部がまたその昔、といつても彌榮村隊員の入植した昭和七年一月頃この地方の有力紅槍會匪首領李紹久が采配を振つて土地の良民を掠め、彌榮隊員の入植を阻んだといふ歷史的の家屋なのだ、べらんめえ部隊は三日から作業を開始し三日は彌榮神社の淸掃を午前中行ひ、午後は村役場實踐本部の計畫した國道の新設（幅員十五米）に一ケ小隊十名宛計三ケ小隊が出動、他は苗圃の除草を行つたが總延長一キロの圃は最初の一日で既に百五十米を完成、村人をアッと云はせ、神奈川一小隊は三、四、五、六と水田除草に出動、廿五町歩を十日間に完了を豫定した村人の想像を裏切つて四日で終り、二、三小隊とも大體除草に從事した

▽【彌榮村十日發國通】滿洲開拓の父東宮大佐の偉業は今や全くその實を結んだ、惜しくも同大佐は一昨年再び滿洲開拓事業の成果を見ずして江南戰線の華と散り開拓關係各機關痛惜の的となつて居るが殊に故東宮大佐とゆかりの深い彌榮村では村民一同深くその死を悼み永く大佐の功を顯彰するため曾つての日、此處彼處と軍刀片手に開拓村の選定に當つた標高百米の丘に記念碑を建てることゝなり着々準備を進めてゐたのであるが之を聞い隊員はそれこそ我々が將來に殘す唯一の記念事業であると記念碑建立地區の地均し、土塞石運搬、木材運搬、木材削り等に奉仕を申出でゝ來たので村でも大いに喜び青年の力に依て記念碑の建立せられることは地下の大佐の英靈も喜ばれるに違ひないとその申出でに應じ各中小隊は東京地均し、神奈川石運び木材運搬と分擔して一日も早く記念碑の建立せられるやうにと奉仕をすることになつた

▽【彌榮村十日發國通】東京部隊の醫療班、榮養班、工作班等の活動振りは他の中隊に見られぬ模範的なものでそのコンビ振りも亦見事である、もつともこの蔭にはこれら特別隊の總指揮官となつてゐる東京府學務部衞生課の醫學博士小林茂雄氏の並々ならぬ辛勞があるのだ、工作班を督勵して造つた假診療所は立派な病院であるが、皮肉なことにべらんめえ隊員には一人の病人も出ず手持無沙汰の小林博士は噂を聞いて遙々汽車でやつて來る日滿人の診療をはじめたところこの頃は門前市をなすの盛況を示しこゝにも日滿親善風景が醸し出されてゐる、博士は隊員からは一人も病人を出すまいと村に着くや直ちに凡ゆる不潔な處に石灰を撒き隊員の宿舍には昇汞水を置いて必らず手を洗はせ食器は滿水で洗つた後、喰べる時は熱湯消毒を勵行するといふ徹底振りだ、更に榮養班は榮養班で博士の指揮を仰いで鯉の味噌汁、豚汁、豚カツ等の獻立を作りそれに又東京部隊は隊員がバラエテイに富んでゐて壽司屋、仕出屋、魚屋、汁粉屋、八百屋、漬物屋、豆腐屋、料理屋などの若いあんちやんが澤山ゐるのでそれぞれ腕によりをかけてほんものゝ料理屋ハダシの食事が出來るので隊員は頗る滿悅な態だ

家庭

お台所メモ

竹輪のつけ燒き　醬油に酒、砂糖をまぜて火にかけ、煮てたれを作つて置きます竹輪は縱二つ切りにして更に之を橫に切り、俎にならべて鍋蓋でおしつけて平にし串を打つて、炭火にかけ竹輪を燒いて、たれを塗つて燒きかわかし串をぬいて皿にもります

するめ串カツ　するめは一晚うすい鹽水につけてやはらかく致します、これを一口に食べられるぐらゐに角切にし馬鈴薯もざつとゆでゝ同じ大きさにきり竹串にするめと馬鈴薯を交互にさします。これに鹽胡椒をふりメリケン粉、玉子汁、パン粉の順にまぶしてカラリと揚げ串ぐらゐづゝそへます

民族と食物
牛肉の英國や 蝸牛を食ふ佛國人 民族精神を支配

ギリシヤの醫聖ヒッポクラテスは彼の食餌に關する論文中で、あらゆる人間は生れ落ちた時には同一の精神能力を有してゐるが、成育するに及んで色々と身心に差が生じるのは彼等の食べた食物の質と量とによるものであると說明してゐる

……×……

その他の醫學者や哲學者の間に於ても人間の精神的なものは形而下的なものによつて左右されると云ふ假定の下に民族や國民の特性は其食物の形式によつて決定されると云ふ議論は少からず行はれた

フランス人はスープ、蝸牛、蛙のような輕い食物を攝るから、その性質も澱みのない快活なものであるが、イギリス人は牛肉とプディングを好むから、その性質も重厚で鈍重で沈着なものとなつたといふのである

フランス人は現在では餘り食べないさうだが——兎も角昔から蝸牛と蛙を常食する國民のやうに考へられて來た、フランス人自身は蝸牛や蛙を洒落に御馳走と思つてゐたのであらうが、他國民族にイギリス人はこのフランスの食習慣を嫌忌した

……×……

特に昔英佛兩國が戰爭ばかりしてゐた時代のイギリス人は蛙を食べると云ふ點を取り上げてフランス人攻擊の的にしてゐたと傳へられる、イギリスに限らず食物に對する民族的偏見と云ふやうなものは相當に强いやうだ

チャールス五世の年代記編纂官だつたドン、アントニーもドイツ人の料理を散々に罵つて「ドイツ人は全くろくなものは食つてゐない」と書いてゐる、この食物に對する民族的偏見が巧みに戰爭に利用された一例がある

昔イギリス軍がスペインを攻擊した際の事である、英國の一指揮官は部下の將兵に向つて斯う叫んだ「汝等は牛肉を食べてゐるイギリスの國民であるそれがオレンヂなどで育つたスペイン人なんかに負けてなるものか…」とイギリス人は實に牛肉を尊敬する國民に人は出版の自由と同じやうに牛肉を食ふ權利があるなどと云つてゐる程だ、又牛の岩乘な形から受けた感覺によつてイギリス人の戰鬪力は牛肉とプディングとから生じるのだと云つてゐる

あなたの美を生かす
帽子の選び方
高價の物に憧れるは愚

洋裝婦人は年々增加するばかりですが、ドレスは相當びつたりと似合ふものを着てゐる方でも、帽子の選び方はまだ〳〵と申したい場合が多い帽子こそはその人の容貌を生かしも殺しもするものですから、洋裝と同樣に選び方に御注意いたゞきたいものです。

帽子ばかりはたゞ高價な上等の澤山裝飾のついた立派なものならよいとは絕對に申されません

どんな美しい帽子でも顏かたちに合はなかつたら値打はゼロです、そこで顏かたちによる選び方の標準を申上げませう

近頃は鍔のひろい平な帽子が流行してゐますが、鍔の廣さは全體の身長に影響しますから、全體の線をこはさぬやうに注意して頂かねばなりません。小さい顏の人は大きい帽子は似合ひません、大きな顏の人ならば帽子も大きくて宜しい。丸い顏の人はクラウンは高いのでも低いのでもよいが、但し高いのをかぶる時は、髮の線を橫へ張らさぬやうに氣をつけます。又、低い感じで鍔のひろい帽子をかぶる時は斜にかぶります。そして反對の方面に飾りつけて線を高く見せます、おもながの人は帽子は曲げず平にかぶつて髮は橫にひろく出します。

飾のつけ方は思ひ切り橫に張ります。もしもトーク型の帽子をかぶるなら、なるべく低いのを選び髮は橫に張らぬやうにします。

トーク型の帽子は落着きますから、奧さん向きです。お孃さんには、アミダにかぶるオフ・ザ・フエイスの帽子がよい、又丸顏の人はトークをかぶる時はなるべく顏の線を平衡にのびて高くなるやうなのがよろしい

乳兒には嚴禁 扇風機の使ひ法
かけ放して眠るこ 却つて身體に害

寒い時には人間の皮膚血管が收縮しますから、衣服その他の方法を講じて內臟機關を調節する必要があります、それに反して段々暑くなつて參りますと、皮膚血管が膨脹しますので、それに相應した方法を以て調節を計るに際して一等厄介なものは汗です

夏汗の出る のは生理的に仕方のないことですが出た汗をよく拭きとらずに汗の出たまゝにして放つておくことは最も禁物としなければなりません、汗をよく拭きとらないと汗腺を塞いで汗の發散を防止し種々面倒な皮膚病等を惹き起します、で外を步いたり働いた爲に汗の出た時に汗をタオルでよく拭きとり、體全體を乾燥させる目的で扇風機をお使ひになるのは非常に結構で又必要なことでありますが、一般の人が考へてゐられるやうに、扇風機を

皮膚血管の 擴張を計る目的の爲に用ひられる事はいろ〳〵な害を伴ひます、それも健康な人には大したこともありませんが、不健康な人には內臟機關の諸機能をひどくそこなふ惡い影響を生じます、健康な人でも、長時間に亘つて讀書をしたり裁縫をしたりする場合に扇風機をかけつぱなしになさることは有害無益ですから是非避けて欲しいものです、又眠つてゐる時の扇風機も禁物です、睡眠中は身體のすべての機關が謂はゞ安息する時ですから、外部から冷やすことは皮膚血管の調節を惡くして、氣管支カタル、肺炎等を併發する惧れがあります

裸になつて 扇風機をかけてゐる人を時々見受けますが、無謀も甚しいと言はねばなりません、必ずシャツか浴衣を通して扇風機は使ふべきでせう、これは世のお母樣方に特に注意しておきたいことですが、お母樣方は多分ハイカラな考へから乳幼兒が暑いと思つて扇風機をおかけになるのは甚だ危險です、扇風機の爲に不幸な死を遂げた幼兒の數は決して少なくないのです、ですから幼兒を眠らせるやうな時には、扇風機など決してお使ひにならずに

必ず團扇で しづかに煽いでおやりになるのが一等安全なことです、それから埃つぽい家の中で扇風機を使用されると埃を發散させる結果を招き、その爲に塵埃を呼吸することになりますから注意を要します、つまり扇風機の效能は、汗を乾す程度の短い目的でお使ひになる時、はじめて發揮されるものであつて長時間の使用は決していゝものではありません、部屋の內部を涼しくする積りならば、天井から吊した扇風機が理想的でせうが、普通の扇風機も遠くからおかけになれば、涼しくする目的に合致できると思ひます

母の教材

日曜の後の團欒や食事時などにお子樣を集めて話をしてあげるにふさはしい教材をお送りしませう。六歲以上小學生位の年齡にふさはしい簡易な科學常識です。家庭の集まりにかうした方面の話題を生かして子供の成長に資するのも新時代の母として大切なことであります

子供にきかす話
お八ツや食事時を利用 けふは速さくらべ

先づ、スピード（速度）の話をいろ〳〵なものにたとへて調べた話——。

飛行機 乘物では何と云つても一番早いものです。年々すぐれたものが出來て速さは一定してゐませんが普通では秒速六十米位。百五十七米と云ふ米國の記錄は最も早いものの一つとされてゐます。飛行船は廿米位だから速力は少いですね

流星 夜更けの空に流星を見たお子さんがありませうあの早さはすばらしいもので秒速二萬米から八萬米までゝとても飛行機の比ではありません、然し流星は星がおちるのでなくて空中の石が地球に近より過ぎて地球の引力にひつぱられるのですが、あまり速いので空氣の摩擦から火を發して星がおちて來るやうに見えるのです

鐵砲の彈 秒速約八百米だから相當早いですね。

燕 鳥の中では一番早いもので九十米も飛ぶのですから飛行機の普通の速力より早いわけです。鷲は三十米傳書鳩は二十米から三十一米まで。

地球の廻轉 地球が一晝夜に一回づゝ自轉することは、小學校の上級生は誰でも知つてゐることです。地球を中心に常にぐる〳〵廻つてゐるのですが、その早さは秒速四百六十四米、飛行機よりずつと早い。

自動車 圓タクは八米か九米の速力で走つてゐますバスはもつと遲い。勿論スピードを出せば二十米にもなります。競走用自動車だと米國に百三十五米も走るといふ物凄い速い自動車があります。ピストルの彈より速いのだから大變です。

短距離競走 吉岡選手は百米を十秒三、米國のオーエンスは一秒間に九米八を走る世界記錄保持者です。皆さんの記錄はいかゞです。

汽車 流線型機關車のついた列車で十九米位、特急は三十米も出します。世界一早い汽車はイギリスにある秒速四十七米の超特急ださうです

その他母の教材になるものはたくさんあるものです。平常注意して新聞雜誌を讀み愛兒の知育に心がくべきです。

蠅と傳染病の話
みんなで退治しませう（下）
新京特別市公署防疫科

蠅の持つて居る澤山の微菌の中には色々の種類がありますが、一番私達の注意しなければならないのは「赤痢」「チフス」「コレラ」「結核」菌等をもつて居ることで、之等の恐しい傳染病の微菌をもつて居る蠅が食べ物にとまつて微菌をおとして行つたとしますと、それを知らないでたべた皆さんは傳染病にかゝるわけです、腸チフス菌のある糞を蠅に甜めさしてくわしく、檢查すると二日から六日位も菌が蠅の腸內に居り、蠅が大便をするとそれと一緒に出て來ます英國の『ファイーチニー』と云ふ人の實驗では「腸チフス」患者の大便に產みつけられた卵から生れた蠅十三匹を檢查して、內六匹は腸チフス菌を腸內にもつて居り、しかもそれから十六日間たつても腸內に菌をもつて居たさうです、世界の大學者の中には家蠅が腸チフス菌をよりまきちらすので「チフス」蠅と名をかへるべきだと云つた人もあります、「赤痢」「コレラ」「結核」菌の場合も之と同じです、斯うして恐ろしい傳染病は蠅があちこちに擴がらせるので、蠅を退治すれば傳染病に罹る人も少くなる譯ですでは蠅を退治するにはどうすればよいでせうそれには

一、蠅になつたものを退治する
二、蠅が發生しないやうにする

と云ふ二つの方法があります

（1）の方法は蠅帳や網戶で皆さんの食物に蠅が來ないやうにしたり、部屋の中に蠅を入れないやうにすること又は蠅叩き、蠅取き、蠅取紙、フマキラー撒布器等で蠅を殺すことですが、此の方法ではよそでどん〳〵蠅が增えて來ますから、いくら努力しても蠅が居なくなることはありません、勿論やらないよりはずつといゝことに違ひありませんがそれより一番かんたんでいゝ方法は（2）の方法で蠅の發生する場所を攻擊して「ミナゴロシ」にするに限ります、家の附近の蠅の發生する樣な場所をなくし、食物ののこりやゴミは蓋のある塵箱に集め一週に二、三回位殺蛆劑を撒くことです、其の他水洗でない便所も同樣に殺蛆劑を撒くと蠅は發生しなくなり、たとへ蠅がそこに卵を產みつけても藥の爲めに幼虫の內にころされますから完全に蠅を退治することが出來るわけです、蠅は前にもお話しゝましたやうに夏に一番發生するのですから、塵芥を取去つた塵箱の底にも晒粉等を撒いておきますと一層きゝめがあるわけですこれで大體お話しはおわりましたが最後に特に申上げて置きたいのは色々な傳染病もそれをひろげる役目をする蠅も不潔な所にだけ發生すると云ふことです

けふの番組
〔MTCY 新京放送局〕十一日（火曜日）

ラヂオ 東京無線

朝

六、〇〇（新京）建國體操
六、一八（大連）入港船のお知らせ
六、二〇（東京）ニュース
六、三〇（大連）中等滿洲語講座　秩父固太郎
六、五五（新京）朝の修養　名僧傳（六）空海（下）　吉岡孝
七、二〇（大連）朝の音樂（レコード）
一、ヴァイオリン獨奏
1、メヌエット ト長調　ベートーヴエン作曲　エルマン
2、ワルツ　ショパン作曲　ヂンバリスト
二、管絃樂
1、セレナーデ　ハイドン作曲
2、三ツの獨乙舞曲　ハイドン作曲　クライバー指揮　伯林交響管絃樂團
三、ピアノ獨奏　ポロネズ 變イ長調　ショパン作曲　レヴッイキー
四、管絃樂　歌劇「ノルマ」序曲　ベリニー作曲　ビクター管絃樂團　ボールドン指揮
八、二〇（新京）氣象通報
八、二五（新京）建國體操
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東京）經濟市況
一〇、〇〇（大、新）經濟市況
一〇、〇五（奉天）幼兒の時間　童話劇　兎と龜（二）　白羊會
一〇、二〇（奉天）家庭講座　夏季衛生講座（三）　滿洲に於ける消化器傳染病流行の因とその豫防對策　奉天市立傳染病院長　望月
一〇、四五（奉天）家庭メモ
一〇、五〇（奉天）料理獻立
一一、三五（大連）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報

晝

〇、〇一（新京）晝の演藝（レコード）
（一）ハワイ音樂　（イ）美しきフラ娘　（ロ）ウリリ鳥　（ハ）オベル　（ニ）アロハ・オエ
（二）アルゼンチン・タンゴ　（イ）憂鬱な伊達男　（ロ）ラ・パロマ　（ハ）兵營のスペイン娘　（ニ）歌ひつゝ
〇、二〇（東・新）ニュース
一、〇〇（大・新）經濟市況
二、一〇（大連）經濟市況
三、二〇（東京）經濟市況
四、〇〇（東京）ニュース
四、四〇（大連）經濟市況
氣象通報、ニュース
五、二〇（奉天）ニュース
「鮮語」（奉天）演藝「鮮語」

夜

六、〇〇（新京）子供の時間　童話　お馬の出征　菱川和子
六、二〇（東京）コドモの新聞
六、二五（哈爾濱）初等ロシア語講座　櫻木新吾
七、〇〇（東京）ニュース　勤勞奉仕隊ニュース、告知事項、職業紹介　今晚の番組
七、三〇（新京）一、興亞勤勞報告隊の歌　歌唱指導　二、滿洲行進曲　指導　岩田達雄　新京放送合唱團
七、四〇（北京）
八、〇〇（哈爾濱）管絃樂　哈爾濱放送管絃樂團　指揮　セルゲー・シュワイコフスキー
舞踊曲「白鳥の湖」チャイコフスキー作曲
一、序曲　二、白鳥の女王の踊り　三、圓舞曲　四、マズルカ　五、小さな白鳥達の踊り　六、終曲
八、三〇（東京）ラヂオ時局讀本　支那事變の前途（下）
八、四〇（東京）靑年の時間　靑年と海外發展　拓務大臣 陸軍大將　小磯國昭
九、〇〇（大阪）通信文藝　空ゆかば　山村聰外
九、二九（東京）時報、ニュース、ニュース解說　氣象通報、ニュース、告知事項、明日の番組
一〇、三五（新京）勤勞奉仕隊便り（對日滿）
一〇、三〇　今日のニュース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

暑休講習會

待たれた暑中休暇も目睫に迫つた、小學校は十三日から中等學校は十一日からであるが休暇中に於ける大使館教務部が主催する講習會は次の如くである

▼初等學校體育衞生講習會、（期日は七月十六日から十八日まで三日間、會場は齊々哈爾小學校、哈爾濱桃山小學校、牡丹江圓明小學校、新京白菊小學校、奉天加茂小學校、奉天滿洲醫科大學、錦州小學校、尙奉天滿洲醫大に於ける講習の會期は十七日から二十三日まで一週間である。

▼中等學校體育衞生講習會、期日七月二十一日から二十三日まで三日間、會場は教務部會議室

▼現代事情講習會、期日七月二十九日から七月三十一日まで三日間、會場は市內新京高等女學校

▼科學教育講習會、期日七月三十日より八月一日まで三日間、會場は市內西廣場小學校

▼複式教授講習會、會期並に會場は七月二十八日、二十九日大虎山小學校、八月一日、三日昂々溪小學校、八月六、七日梅河口小學校、八月十一日延吉小學校

短篇 豚と一緒に生きてゐたい (三)

河　利　致

四月の十八日に妻は嫂と一緒に、大連の母の許に里歸りした。私はそれ以來今日に至る迄獨一人居の生活を續けてゐた。

叔父、叔母、それにその兒等と同じテーブルを圍み乍ら起居してゐる私は、所謂同居生活をしてはゐるものの、飽迄もたつた一人の一つしか持たない心の生活者であり、やもめ暮しの男であつた。

叔父たちは色々と私の話をしてくれるし、從事員たちの配者、看護婦、ボーイも種々と私に友情を示してくれるのでこれといふ退屈さを感じてはゐなかつた。だが、私は自分を余計なものに感じさせるし、多かれ少かれ滑稽なものに思はさせた。私の服裝がこれ等の人々と一樣でないと言ふだけでそれは明かであつた。

一時たま、食堂に或ひは映畫に叔父や友人と出掛けた。昨日は公園から嫩江の河岸迄シヨートハイキングを齒科醫長のNと外科醫長のAとでやつてみた。道すがらお互ひは打開けた話に花を咲かせ、友情と言ふものを率直にやりとりした。しかし私は、この友情が永續性のあるものであるかどうかを疑ひ且つ極めて危險であることを密かに知つた。

學問あり、教養ある紳士のNは

「他人の言ふのを氣にしては生きられないね。」

と言ひ。

聰明で平和的なAは

「盲目的服從は生きる上の秘訣であると思ふ。」

と說いてゐたが、これは人間から眼と耳とを消滅せよと言ふのに等しい言語で、從つて凡そ至難なる意見だと言ふことができる。出來ぬ問題を恰も出來るかの如く話合ふ友情の交換……私はうんざりしてしまつた。私がそれを信じてゐるだけで、最早立派な證明はできあがつてゐた。私は、顔容が異ふが如く各々の言葉、(思想を傳へる言葉)かい加減である限り、自分の存在を滑稽なものにしないではをられなかつた。

妻がゐなくなつてから私は嫌な會話を日に幾回となくおこなつた。

隨分、話上手な者があつた。正しい、と思はれるやうな意見を吐く者もあつた。

球突きは技でなく氣分である、と氣分を土臺とした人生を力說する者もあり、諸制度は人間がこれを利用する爲に作つたものであるのにも不拘それに人間は常に苦しめられてゐると云ふやうな政治論を述べる者もあつた。

私は〃さうですか、えゝ〃と返答してみるだけで、大概は一かけらの意見とて示さない。決定的な意見は、只單に一つの見解に過ぎないものであると考へてゐたし、諸々の話上手の結果にみられるものに、頭腦と身體の疲勞しか無いと思つてゐたからだ。

聽いてゐると云ふことは一つの禮儀ではあらうが、それは人生に何等の効目とてありはしない。私は嫌で嫌でたまらなかつた。

私は妻に宛て返事をだすことにした。

——

一人ゐの生活は何から何迄不自由である。AさんやNさんそれに院長夫妻と一緒になつて屢々長い會談をおこなつてはみるが、常に陰氣である。自分の考へと何處迄行つたつて一致しないんだから、愉しめる筈は無い。食堂に行つて若い妹のやうな女たちに圍まれてみたけれど、只厄介者扱ひにされるだけで慰められるものはなかつた。男ばつかしの間に挾まれると、その感じを更に深める。

人間の生活は、絶對的獨身ぢや許されない。だから今の一人ゐの生活は寂しい。何時頃、歸寧してくれるか。若しそれが大變に遲れるやうであれば、自分は豚を飼つてみたい。それと一緒に生活して、動物は、恐る可き孤獨の生活を持つてゐるんだから、自分の今の生活はそれに似通ふことができよう。

私は、蜘蛛の巣の上に築かれてゐる人間の生活を思ふ時に、沁みぐと動物の世界を羨望する。これは、お前が歸つて來ない限り續けらるゝであらう。

私は誰とでも自分の意見を交換するやうなことをしない。しかし、豚に對しては持つてゐる口を充分協力的にきく考へである。二人の生活が、急に一人になつたので、その不自由さは眼に見えるものの他に、眼に見えないもの迄が加へられて適はない。

——

私は早速この手紙をポストに投げ込むなり、郊外の農家に豚の仔をみに出掛けた。

(完)

雨に咲く罌粟

中原閑古

—卒然と逝ける岩本友子姉にさゝぐ—

おい友ちゃん　聞こえるかい
雪縁りの鈴の音　ウラルの山鳴り
六月の雨
罌粟の實はたゞれて落ちた
あの十字巷路の寫眞屋のぢいさんも燒け死んだつて　五月の或る雨の日　さかさのレンズには毒蝶が寫つて居たんだ

氷雨の夜はなにか唄つて　何かにおびえ苦しんでた　あのB一號室
何處かで金の笛が自分を呼んでる　戯れに生かされて來た
心とは　人間とは
樂しい　苦しい白日夢は破れ
やがて訪づれたものは——
綠衣の天使はずたずたの感情
脈を拾つて宿命の道化師はビヲをまく

「ねむるから起こさないで」
おい友ちゃん　解るかい
六月六日は曇天だ　鋭行は生きてるぜ
初夏の街角は恐しい場處だ
美くしい綠の心は人生の不具者なんだ
永久の旅路は晴れてゐる輝がやいてゐる果しなき航海圖を胸に——
北斗七星よ　美くしき瞳よ
さようなら友ちゃん!!

(六、六、六)

映畫についての支那文人の見解 (一)

御垣衛士

本稿原文は一九三〇年に書かれたもの、一つの資料として見られたい。

トーキー

(馮乃超)

映畫は世界を市場としてゐる。

無聲映畫の消沈を挽回するにトーキーはそれ自身の販路の問題を解決し得るであらうか?

否、映畫は依然として商品である、この問題には辨法が存しない。それに、トーキーには一つの新しい危險が存してゐる。

それは對話映畫の問題である。

全地球に英語或ひは獨逸語を話し得るものがどれだけゐるであらうか、スターは幾つの國語を話し得るであらうかこれは甚だ常識的な問題である。オール・トーキーは市場を擴大し得ないで縮小さす。

ただサウンド・ピクチュアは又別の問題である。これは確かに無聲映畫の缺陷を救ひ得る、殊に種々の音響效果は特に映畫の效果を增加し得る。

トーキーの前途は音響映畫の延長たらざるを得ない。

現在の歌舞トーキーは商人のつくつたものである。

より眞實に

(鐡平萬)

映畫についてはもともと素人である、そしてトーキーを私は見てゐない、それでトーキーについての感想といふものを持たない、だが、想像して、私はスクリーンで音が聽けるやうになればより眞實になると思つてゐる。

ムーヴィ・ラヂオ・トーキー

(鄭伯奇)

1、いかなる藝術でも物質の支配を免れることは出來ぬ物質の進步で、藝術の種類も發達した。機械の發達は、藝術の形式に變化を生ぜしめた物質の條件が愈よ多くなるに從つてかかる變化は愈よ顯著となる。

2、ムーヴィは二十世紀初頭の寵兒であつた。幻燈式の簡單なものから「つばさ」のやうな大規模な複雜な映畫に進步した。所謂無聲映畫はその頂點に達した。更に一步を進めれば、聽覺と視覺の統一である、當然これは避けられぬ欲求であつた。

3、ラヂオは廿世紀科學の寵兒である。簡單な實用器具から演劇に一種の新しい形式を作り出すまでに進步したラヂオ・プレイが出來た。ベッドに寢てゐて、ソーファに橫になつて機械の傍に立つて人々は芝居を聽き得る。二十世紀の我々は幸福である、だが聽くだけでは我々の全神經の活動を滿足せしめ得ない、我々は非常に見ることを欲してゐる、それに形態のないラヂオ・プレイの創作は又技巧がいかにも困難である、こゝに視覺と聽覺との統一は必然的な要求となつた。

4、トーキーはつひに生れた。これはムーヴィとラヂオが結合したものである。これは機械文明の最大の賜與である。これは資本主義の最後の貢献であつた。

5、トーキーが出來て、我々はパンキー、デルリオ・ディヴバオエテの清楚美麗豊艶活潑な姿態を見、同時に我々は彼女等の嬌滴々たる鶯聲を聽き得るやうになつた。我々はバンクロフトの壯烈な演技を見同時に我々は彼らの蒼涼たる雄叫びを聽き得る。上海に於いて、この地球の一角に於いて我々は經育のレヴューを見、ムーランルーヂュのシャンソンを聽き得る、これは現代人にしてはじめて享け得る幸福である。

持ち味

—里見弴「くちやね島」(『改造』七月號)—

里見の持ち味といふものをはつきりと見せた、またそれだけの、作品である。今日の時勢下に悠然としてこのやうな作品を書きつづける、これも胸のスッとすることではあらう。

「くちやね島」とは「食つちや寝島」と作中人物が戯れに呼んだ大島附近の或る島のことである。そこに遊びに行つた話、それを巧みな文章で、面白く、雄辯に語つて行く、それで結構こちらも蹤いて行けるそんな風な代物なのである。

日本文學の一つの典型的な持ち味とも言へようか、ともあれ老年この元氣ある作者を良しとしよう。

(御垣衛士)

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し(係)

△法律時報(七月一日號)(大連市伏見町五四、法律時報社、二十錢)
△滿洲評論(七月一日號)滿洲の農業政策をテーマとした特輯、鈴木小兵衛「滿洲の農民政策と都市の役割」佐藤大四郎「農事合作社當面の諸問題」民石實樹「新しき開拓政策のために」を收めてゐる(大連市大廣場東拓ビル、滿洲評論社、十五錢)
△魂(六月號)(東京市中野區小瀧町四六皇學會、十錢)
△滿洲遞信協會雜誌(七月號)張翰書「訪日雜感」白濱少佐「スパイ談義」その他(新京順天大街一〇〇一、滿洲遞信協會、二十五錢)
△實業之朝鮮(七月號)朝鮮の教育界に就いての記事を盛る(京城府本町五ノ一六實業之朝鮮社、五十錢)
△ますらを(四八號)(關東軍司令部)
△金融合作社(六月號)平實「協同組合に於ける文化概念」有馬祐壽「協同組合參考文獻解題」その他(新京興安大路一〇四、金融合作社聯合會)
△經濟統計月報(七月)(大連商工會議所)
△東亞商工經濟(七月號)「時局と滿洲軍要農產物」「北京華商の一斷面」「滿洲國棉業問題の現段階」「滿洲特產物貿易統制の內容」(大連商工會議所、四十錢)

國都醫院案内

本欄一手取扱　滿洲國通信社

大森医院　一般外科・内臓外科・痔疾性病　新京永樂町二丁目　電話③四七四三番

浜田医院　内外科・花柳病・皮膚科　新京三笠町一ノ二六　電話③二八七三番

中野医院　内外科・眼・皮膚・性病科　興安大路五〇二　電話②一七〇一番

上山醫院　外科性病　入院隨意　朝日通廿一番地　電話②五七九五番

長岡医院　皮膚・性病・外科 專門　光耀路二〇四　電話②三九五八番

吉利外科　外科・整形科　中央通り四六　電話③三三四九番

順天医院　内外科レントゲン　産婦人科　病室完備　院長 醫學博士 小橋茂穂　新京驛前　電話③三八九〇

中市医院　産婦人・花柳病・内科　病室完備　滿鐵病院東門前　電話③三九〇二番

畑医院　内科・性病・産婦人科　入院隨意　新京新發屯豐樂路　電話②一三三〇番

縁医院　内科・小兒科　醫學士 住吉勝也　入院隨意　長春大街三〇二號　電話②五一〇〇一番

興安病院　内科・小兒科・外科・性病科・X線科・物療科・産婦人科　醫博 吉田秀雄　興安大路興亞街角　電話代表②五九一一番

折島医院　内科・小兒科　新京通化路 [illegible]

槙医院　小兒科・内科・花柳病科　病室完備　興安大路一二一五　電話②一五八〇番

深町医院　内外科・小兒科・レントゲン物療科性病・耳鼻咽喉・産科・婦人科皮膚泌尿科・各科專門　院長醫博 深町穂積　新京朝日通　電話③六六六八番

沖津医院　産婦人科・外科・性病　醫博 沖津亘　新京室町二ノ二二　電話③五六八九番

杏林堂医院　内科・小兒科(專門)　往診隨意　吉野町一ノ二二　電話③二五二〇番

肥後医院　産婦人科 花柳病科 女醫 小野浦千　内科 小兒科 院長 肥後弘子　入院往診隨意　ダイヤ街老松町朝日通　電話③五七〇九番

松本医院　内科・小兒科・泌尿生殖器病 肛門病科・皮膚病科　入院往診隨意　日本橋郵便局前　電話③二七五六番

鈴木病院　産科・婦人科　醫博 鈴木紀　病室完備 入院隨時　新京濟和街七〇二　電話②一八八七番

田島医院　産科・婦人科　女醫 田島靜子　新京興安大路四九　電話②二六〇七番

康徳医院　産婦人科 婦人内科 花柳病科　女醫 柴田すぎ　吉野町四丁目廿一　電話③五三九七番

三谷医院　呼吸器・胃腸病・レントゲン科　入院隨意　新京崇智路一〇八　電話②四八六九番

同仁医院　皮膚科 性病 泌尿科　醫博 市橋貞之　新京富士町二丁目　電話③二六〇六番

早川歯科　外科 レントゲン設備　新京錦町二丁目七　電話③三二九六番

佐野歯科　日本橋通り新京ビル　電話③二三六五

林歯科　院長 醫博 柴久仁　[illegible]胡同一一〇

山崎歯科　第一醫院 兒玉公園前 電話③五八三〇番　第二醫院 大同大街海上ビル二階 電話②三七五〇番

堀山医院　産科・婦人科　產婆派遣　入院隨意　新京[illegible]　電話③[illegible]

豊楽堂医院　花柳病・肛門病科 專門　豊樂路公設市場入口　電話②三二九七番

太田医院　小兒科專門　入院隨意　新京神社南横　電話③三八三九番

淺井醫院　小児科　入院隨意　新京崇智路六一六　電話②一六〇五番

吉野医院　小兒科專門 レントゲン科　入院隨意　新京神社南角　電話③五二四二番

長春醫院　小児科　院長 德丸スガ　入院隨意 往診應需　新京神社ノスグ前　電話③六二四一番

知識眼科　醫學士 知識古彦　入院隨意　新京大和通り　電話②六六四六番

三井耳鼻科　耳・鼻・咽喉科 專門　醫博 三井忠　新京電々會社裏通　電話②四八八五番

康生医院 分院　各科一般 レントゲン　三笠町二丁目 電話③二二九四番　歡樂地東門路 電話②二〇五五番

中山医院　新京錦町二丁目七　電話③三二九六番

ヤナギ歯科　中央通郵政局前

興安歯科　興安大路五〇九

亀川歯科　新京祝町二丁目　電話③三八五八番

市村歯科　新京吉野町一丁目　銀座キネマ前

山口歯科医院　院長 山口錄乃　新京豐樂路[illegible]店前

書籍定價賣り問題 またも問題化す

要望さる、當局の解決策 圖書配給會社設立を待望

滿洲向け內地出版圖書は滿洲に於いて販賣さるゝ場合、二つの定價に分れ販賣店により高下を示し一般購讀者に頗る不愉快な印象を與へてゐる東京堂より配給をうける東光書苑が定價通りの販賣を爲し充分の採算を擧げてゐるに對し一方では定價に一割を加へた外地定價を以て販賣してゐる狀態である、即ち一圓の內地定價のものは外地定價として之れに一割を加算し、外地定價一圓十錢を以て滿洲で販賣されてゐる、この定價賣り問題を繞つて書籍組合側は東光書苑と確執を生ずるに至り、昨冬十一月には遂に東光書苑に對し組合員除名通告を取るに及び定價賣り問題は益々紛糾するに至つた、一般購讀層に於ても又當局としても斯かる不透明な價開きの問題は頗る不可解なりとし、一日も早く明朗な解決を希望してゐた當局としても文化の進展に伴ふ書籍需要の增加傾向に鑑みてかねて圖書配給會社案を考慮してゐる際でもあり、定價賣りを斷行してゐる東光書苑に配給してゐる東京堂では今後の配給方針樹立のため今般代表を新京に派遣し政府の統制意向を打診せしむるところあつたが、常に外地賣り價格を固執して東光書苑と對蹠的立場をとつて來た書籍組合側は東京堂の配給を阻害するの意向を仄めかし、東光書苑を牽制して暗に外地定價を遵奉せしむるの態度を取るに至つた、當局としても定價賣りを以て充分採算が取られ得るに拘らず之に反對して斯かる態度を以て臨むことに對しては頗る不滿とするところであり滿洲國文化の進展に伴ふ書籍需要の旺盛に即應して圖書配給會社案の具體化が表面化せんとする折でもあり、當局はかゝる不透明な個人利益の擁護とも見られる操作によつて大衆の讀書慾をむしばむと言ふことは寧ろ排擊すべきであるとの强硬なる見解を持して居る模樣で、當業者間の確執が早急に解決されんことを要望すると共に、之を契機としてかねて懸案の滿洲圖書配給會社設立具體化が一段と促進されるのではないかと見られるに至つた

赫々、荒鷲の奮戰に 彩管を揮ふ畫伯

基地に起居の深澤氏

【〇〇基地にて十日發國通】〇〇大空中戰を始め今次事件における荒鷲の赫々たる戰果と奮戰を永久に保存すべく想を練る畫伯がある、深澤清畫伯は先ほど〇〇基地に飄然と現れ勇士等と起居を共にしつゝ具さに荒鷲の活躍を見聞し悠々構想に耽つてゐるが、愈々わが空軍史上に燦として輝く六月廿七日〇〇大空中戰および擊墜せるS・B重爆の下ラシユートを追ひかけた離れ業で一躍勇名を馳せた古郡曹長等をテーマとして近く筆をとることになつた、同畫伯は過ぐる昭和十二年十二月十八日包頭北方の敵中に不時着せる能登少佐（當時大尉）を單機敢然救出して個人感狀授與の榮譽に浴した森田中尉（當時准尉）を題材にし筆を揮ひ畏き邊りに獻上の光榮に浴した人である、畫伯は語る

今度荒鷲の活動を目の前に見て私の頭は構想で一杯です、この歷史的な空軍の活躍を筆にとつて拙いながら後世に殘して國民精神作興の一助にしたい念願です

滿洲佛教總會より 國境へ感謝文

活躍の將士に捧ぐ

滿洲佛教總會では今次滿蒙國境ノモンハン事件に赫々たる武勳を輝やかしてゐる皇軍及び國軍將兵に感謝の意を表するために同總會副會長釋尚培常任幹事井上道雄の兩師は十日午後一時半治安部大臣室に于治安部大臣を訪れ

暴虐共產ソ聯の魔手は外蒙民衆を塗炭の苦しみに陷れ今また武力を行使して滿蒙國境を侵した、皇軍、國軍は破邪の劍をとり、連戰連捷を收めてゐる、われわれが安居樂業して居られるのは偏へに前線戰士のたまものである、正法を堅持する滿洲佛教總會は佛陀の慈悲により赤魔の降服と外蒙民衆の覺醒を祈ります

との感謝文を捧げた、これに對して于大臣は

國境を犯すものを擊退するのはわれわれの使命です、どうぞ安心して業務に精勵されたい

と挨拶を述べ、懇談のうち兩師は午後一時四十分辭去した

義勇奉公隊 第一區隊査閱

協和義勇奉公隊總務廳外務局及び審計局より成る第一區隊の訓練査閱は官廳のトップを切つて十日午後一時から國務院廳舍南側グラウンドで擧行された、協和義勇奉公隊總長于新京特別市長はじめ警備司令官、星野總務長官以下關係者六十餘名參列、日滿一德一心、民族協和の理想實現の意氣に燃ゆる若き吏員四百名がきちんとした團服に身を固め遙かに白雲たなびく順天廣場を背景に整列、國旗掲揚、皇居遙拜の後總務廳、外務局、審計局の順で于總隊長の査閱を受け、つゞいて平山區隊長の號令一下步調も輕く勇壯なる分列行進に移り最後に燒夷彈豫護演習を實施し終つて于總隊長の發聲で萬歲を三唱午後三時好成績裡に終了した

新京放送局對外放送 更に三方面擴張

對歐洲、北米、南洋へ

躍進滿洲國の實相を弘く海外に傳へるべく新京中央放送局が本年六月六日より開始した廿キロ對外放送「極東一般向」は好調裡に成功を收めてゐるが、この程、更に對歐、對北米西部對南岸と三方面への放送も諸準備完了しこゝに「滿洲帝國對外放送」は完全なものとなつた、對歐放送は來る廿日より開始し毎朝六時より五十分間對北米西部は同日開始、午後三時卅分より五十分間英語で放送、また對南洋放送は九月十日開始し放送時間は午後十一時五十分より一時間五分に亘つて日本語、支那語、英語等によつて放送する放送內容は主としてニュース音樂、講演等で、アナウンサーは去る五月廿日東京に赴きAKの海外放送を見學中であつた船田、福田兩アナウンサーが其の任に當り萬全を期してゐる

銀紙献納

產業部の兩女性

十日午後順天警察署長から本社へ煙草包裝銀紙百七十五瓦の獻納手續依賴があり、直ちに所定の手續きを了したが、右は順天署管內明倫街派出所へ金輝路第四代用官舍居住產業部畜產司勤務松浦品江さん坂上ミツエさん兩人が丹念に集積したものを提出、國防資材として獻納したしと用立たものである

東京學生柔道團

東京學生柔道聯合會では夏季休暇を利用して滿洲遠征を擧行、一行四十名は學聯理事長高廣七段、石黑七段、葉山六段引率の下に十日午後九時半東京驛發、神戶より黑龍丸に乘船、十四日大連着上陸し十六日大連において第十一回全滿洲對抗柔道試合を擧行の後十七日午後四時廿分着列車で着京、十八日大滿洲帝國武道會新京支部選士と一戰を交へた後解散、四十名を三班に分つて哈爾濱、齊々哈爾、牡丹江、羅津、吉林、錦縣の各地に赴き講習並に視察を行ふ筈である、メンバーは左の通り

▷引率者＝理事長高廣七段、石黑七段、葉山六段

△選士　中大＝新德三雄（四段）市原豐吉（四段）島名誠（四段）宮內英二（四段）法大＝野村權之亮（四段）慶大＝後藤健一（三段）渡會卓藏（四段）渡邊昌一（三段）國士館＝細川九州雄（五段）玉城盛源（五段）井出友則（四段）齋藤庄衛（四段）駒大＝市川淸矩（四段）高師＝齋藤三郎（五段）內山四郎（四段）高根喜義（四段）明大＝委節雄（四段）城岡正美（四段）佐藤春生（五段）宮島龍治（五段）小宮良平（五段）日大＝島谷一美（五段）泉山正（五段）高橋康（四段）吉田榮治（四段）日體＝緒方惇一郎（四段）植村泰三郎（五段）大野太郎（四段）立大＝野上誠（五段）農大＝草田重男（三段）山中美彥（四段）黑見敏（三段）早大＝尾津村忠登（三段）岩崎多丹崎稻穗（五段）才田正太郎（四段）越山純雄（四段）

神守源一郎氏

新任挨拶のため赴奉中であつた滿鐵新京支社次長神守源一郎氏は十日午後五時二十分着列車で歸任した

牛疫を防止せよ

檢疫と豫防注射實施

全滿の森林伐採地區に於ける木材運搬に使役する牛は毎年五萬頭に上つてゐるが、一昨年より牛疫が急激に流行し昨年度の如きは滿洲林業伐採地區に於ては入山頭數五千卅七頭のうち罹病二千六百七十二頭、斃死二千三百廿三、罹病率五十三%、斃死率八十七%に上りこれがため木材の損害一千萬圓に上つた、產業部畜產司ではこれが豫防のため種々對策を講じてゐるが、十日午前九時から本部會議室に牛疫豫防打合會議を開催、吉林、通化、間島、濱江各省畜產主任、林野局、滿洲林業、滿拓、滿洲畜產、獸疫研究所、關東軍獸醫部、產業部、畜產司の各關係者出席、協議の結果

一、入山牛はすべて入山前省公署に於て檢疫を施行すること

一、入山牛の檢疫の徹底を期するため檢疫期間中移動禁止をなすこと

一、檢疫終了後の牛には所定の烙印をおすこと

一、入山牛は原則として入山前豫防注射を實施すること（但し未發生地に入山する牛に對しては豫防液配給の關係上檢疫のみに止むること）

一、入山牛は豫防液注射後少くとも二週間を經過したる後入山せしむること

等を決定、本年度は吉林、通化、間島、牡丹江、濱江五省に於て約二萬頭の牛に豫防注射を實施することになつた

鐵道總局の肝煎りで 綴方使節が來滿

全日本學童から選拔

鐵道總局では滿蒙開拓青少年義勇隊の大擧入滿を機に、全日本小國民の對滿認識慾が熾烈になつて來た現狀に鑑み次の時代を背負つて立つ小學生の日滿綴方使節を招き東京市板橋區志村小學校長木內キヨウ女史引率の下に八月十日より廿四日間に亘り樂土滿洲見學旅行をさせ、該旅行記を新聞、雜誌、綴方集、放送或ひは一行の動靜カメラに收めた「兒童向きの滿洲觀光映畫」によつて一般小國民に傳へ、對滿認識を深める事になつたこの綴方使節は一般內地學童の上級生より滿洲に關する綴方を募集し、其の最優秀者の中から男女各五名を選ぶが、一行は八月十日午後三時特急「フジ」で東京出發、釜山、安東、奉天、撫順、新京、哈爾濱、大連、旅順を順歷し八月廿六日午前十一時大連發海路歸途する豫定

古井戸事件表彰

順天署管內小房身淸水農場の古井戸慘殺死體事件に當つて主犯李海山が入質に來たところを看破し大躍で追ひ馳けてスピード檢擧の因をつくつた市內吉林大馬路公合長質店々員何昭嵐君（一九）は質屋組合長趙　宸氏と共に十一日首都警察廳に於いて新京防犯協會から感謝狀及び金一封を以つて表彰されることになつた

警察官功勞者

首都警察廳では十一日午前八時半から本廳講堂で古井戸事件功勞者の表彰式を擧行するが、副總監賞を受けるものは左の通りである

松原順天署長、平岡同司法主任、張和順署長、同司法主任、陳寬城子署長、同司法主任、和順署劉恩民、……士賢、賈英魁警長、同孟秀民警士

乗らうとしたのは 地獄行のバス

吉林の苦力轢殺さる

十日の午下り雜沓する酷熱の路上に惹起された轢殺輪禍事件＝新京交通會社十四號線南廣場―東站間を東站より運轉手姚佩成君（二四）車掌盧海泉君（一六）が一〇三五號を運轉し午後二時五十分頃日本橋通日滿百貨店前停留所を發車せんとした際麥藁帽子をつた一滿人が慌てふためきつゝ馳けより閉扉した戸を叩きながら走るバスを追つて走り出したが停留所より十二、三米邊り日本橋通郵政局前で突然前にのめり顔面を路上に打ッつけた途端後部車輛に背中を轢れ即死した、中央通署から小谷司法主任、和泉澤保安主任、村檢證官、中市警察醫等が現場に馳せつけ檢證したところ肋骨全部、左右兩腕關節を轢斷即死したものと判明したが、被害者所持の勞工協會發行の勞働票により右は吉林市昌邑屯護昌街慶昌胡同六號瓦職馬　榮さん（三三）と判明した

國務院會議事項

十日の第卅三次國務院會議に於ける可決事項左の如し

一、康德六年度各特別會計第二準備金支出の件

一、滿洲柞蠶會社及び協和鑛山會社政府出資分二百六十二萬五千圓の出資の要あるによる

一、人事

陞敍簡任二等　（牡丹江）鐵道警護本隊長　若山七三郎

孫民生部大臣

孫民生部大臣は奉天省協和會聯合協議會出席のため林煙政科長を帶同、十日午後六時五十分新京發のぞみで赴奉した、歸京は十一日のはとの豫定

滿鐵航空部打合

昨年呱々の聲をあげた滿鐵航空部新京支部は最初五、六十名近くの部員を有し未來の荒鷲を胸に張り切つてゐたが、最近轉勤其他の事情により最初の意氣込みもどこへやら寂寥たる現狀に鑑み、これが更生につき十四日午後三時から支社第一會議室で打合せ會を開き擴充の具體案を決定する筈である

東亞經濟懇談會

創立總會、發會式終る

【東京國通】東亞經濟懇談會の創立總會並に發會式は、十日午前十時より帝國ホテルで開催

呂滿洲國產業部大臣、陸臨時政府實業部次長、久光蒙疆聯合委員會東京辦事處長、葉維新政府實業部次長その他滿洲國、北支、中支の各代表、伍堂日商會頭以下賀屋、結城その他各發起人及び來賓として有田外務、荒木文部、八田商工、小磯拓務各大臣、阮駐日滿洲國大使始め關係各省首腦參列、まづ伍堂發起人代表の開會の辭ならびに經過報告あつて後議事に入り

一、定款に關する件

二、役員選任に關する件

を上程、一に就ては原案を可決總本部を東京に置くに決定二については各本部隊長の決定を俟ち選任することゝし、各本部長は九月迄に決定、會長は伍堂氏が代行することゝなつた、これを以て創立總會を終了、直ちに發會式に移り伍堂會長の開會の辭について宮城遙拜、皇軍英靈に對し感謝の默禱をなし皇軍將兵の慰問決議を可決、續いて參列各大臣、呂滿洲國產業部大臣及び臨時政府行政委員長等の祝辭（何れも代讀）祝電の披露あつてのち宣言を可決し閉會、出席者一同は同所における外務、大藏商工、農林四大臣主催の招待午餐會に臨んだ

大相撲四日目

大相撲滿洲場所四日目の勝負左の如し

（勝）		（負）
倭岩	寄切り	高登
松ノ里	寄切り	大浪
神東山	寄切り	巴潟
旭川	內掛け	藤ノ里
大邱山	寄切り	靑葉山
兩國	寄切り	鶴ケ嶺
綾若	突出し	番神山
安藝ノ海	寄切り	富士ケ嶽
駒ノ里	上手投	幡瀨川
龍王山	寄切り	佐賀ノ花
五ツ島	上手投	金湊
鯱ノ里	寄切り	鹿島洋
肥州山	打棄り	楯甲
綾昇	寄切り	玉ノ海
出羽湊	寄切り	磐石
羽黑山	寄切り	前田山
双葉山	打棄り	鏡岩
男女ノ川	上手投	名寄岩

打出し七時五十七分

プロムナード

滿洲體育聯盟主事といふ華やかな職業からこれは又地味ではあるが滿洲電氣化學工業といふ重工業にも對抗すべき將來性ある會社に美事轉向した田中眞藏君▼普通のサラリーマンはどうもやはり身につかぬ、と昔を懷かしがつてはこぼしてゐるが、事實は仲々そうでもなさそうだ▼既にして滿洲資源經濟論をまつかうから振りかざして堂々の論陣を張るあたりもうひとかどの成長振りだ▼最後に彼は言ふ「つまり將來はだね、生產品があり餘つて困る時期が來る、そのときの販賣先の獲得が問題である、わが電化が世界に勇躍するはこの時だ、わしは今から十ヶ年計畫で販賣學の研究をするぞ」▼吉林のダムが完成して實際の仕事を電化が開始するは何年後か？とにかく田中君はハリ切る

女人果（じよにんくわ）

小栗虫太郎作　中島喜美畫

（八十一）

入仙寨の悲劇(伸子の手記)

しかし伸子とは反對に、子岐は冷々と冴えてきた。

相手が、熟すれば熟するほど理性が擡がつてくるのだ。

『だけど、僕はこの關係が、永續するかどうか疑ふよ。たとえ、僕の命が當分あるにしてもだ』

『マア、また仰言りたいのね』

その、まるくした眼のなかには優しい睨みが罩つてゐる

『いや、さうぢやない』

子岐は、懸命に打消した。

それでは彼が、伸子の犠牲にまで背いて、主張したいのは何であらうか。

『君は、僕の家がやられたのを割合單純に見てゐる』

『……』

『なんだと思ふね？』

『掠奪でせう』

『たゞの？』

『えゝ』

『爺やが、聽いて來た』

『……』

『捜査隊が、こんな兎みたいな人間を、虎豹のやうにして狩つてる』

『……』

『此處へも、今朝驍がた頃、やつて來たよ』

『えつ』

『ところがね、爺やの頓智で追拂つてくれてね、煤や泥を肌に塗つたし、それに、立つてゐたんだから、僕とは思へなかつたらしい』

『……』

『何故つて、そら、僕は、しよつちゆう安靜にしてたぢやないか、それを――、足腰利かない片輪のやうに思つて、やつとだが、歩いてゐるのを別人と考へたらしい』

『ぢや、これからは見付かりつこない譯ね』

伸子の、不安がきゆうに霽れてしまつた。

伸子は、なにも疑はずに頷いた。

世間を知らない――たゞ戀の道と純潔を信ずる以外、十もうえの子岐の考へには到底及ばなかつた。

『實はね、僕は殺されやうとしたんだよ』

『殺される？、アア、子岐さまを何故にでせう？』

『それが、分らない』

子岐は、憮然といつた。

おつと天井を見つめる、額に小鼻が落ち、死にちかい影があらはれてゐる。

『でも、なにも抵抗ひはなさらず盗らせるだけ盗らせたんでせう』

『さうだ』

『だのに、子岐さまのやうななにも爲さらぬ方を……』

『ふむ、なにも爲ないにもこれほど出來ない人間はないからね、それに、永い病人だし先も知れてるんだ』

『……』

『それだのに、剝いだゞけでは濟まされぬ理由があるらしい。多分、先方だけの、勝手氣儘な理由だらう』

『だけど、どうしてそれが、お分りで御座いますの』

『子岐さまには、なにより御運があるんですもの、直きに譯もなしに、きつと濟んでしまひますわよ』

さう云つて、子岐をやさしくなだめる態度には、なにか媚かしい、手練の娼婦のやうな感じがした。

それはこの機會に、いつまでも自分に結び付けて置きたい、支配したい、占有したい――處女の强烈な欲求である(これからの生活、二人に贈られる、豊醇な日々)

伸子に、まだ未發達の童心にちかい、非世間的なものがしきりと幻をさぐつてゐる。